

注3

大学番号：071

[平成29年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

意見伺い

高知大学 理工学部

注2

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人高知大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 法人企画課

職名・氏名 課長・佐藤 泰司

電話番号

（夜間）

F A X

e-mail

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

理工学部

<数学物理学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	23
6. 留意事項等に対する履行状況等	55
7. その他全般的事項	57

<情報科学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	59
2. 授業科目の概要	63
3. 施設・設備の整備状況、経費	73
4. 既設大学等の状況	75
5. 教員組織の状況	79
6. 留意事項等に対する履行状況等	109
7. その他全般的事項	111

<生物科学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	113
2. 授業科目の概要	117
3. 施設・設備の整備状況、経費	129
4. 既設大学等の状況	131
5. 教員組織の状況	135
6. 留意事項等に対する履行状況等	167
7. その他全般的事項	169

<化学生命理工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	171
2. 授業科目の概要	175
3. 施設・設備の整備状況、経費	187

4. 既設大学等の状況	189
5. 教員組織の状況	193
6. 留意事項等に対する履行状況等	225
7. その他全般的事項	227

<地球環境防災学科>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	229
2. 授業科目の概要	233
3. 施設・設備の整備状況、経費	245
4. 既設大学等の状況	247
5. 教員組織の状況	251
6. 留意事項等に対する履行状況等	283
7. その他全般的事項	285

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人高知大学

(2) 大学名 高知大学

(3) 大学の位置

〒780-8520
高知県高知市曙町二丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	該当なし		
学長	(ワキグチ ヒロシ) 脇口 宏 (平成24年4月1日)		
学部長	(スズキ トモヒコ) 鈴木 知彦 (平成29年4月1日)		
学科長等	(モロサワ シュンスケ) 諸澤 俊介 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 数学物理学科 学士(理学)	理学	4年	55人	3年次 2人	224人	編入学定員は平成31年度入学生から募集開始

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	55人 (-) [-]	人 (-) [-]	1.05倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	303 (-) [4]	(-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	282 (-) [4]	(-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	62 (-) [2]	(-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	58 (-) [1]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A							1.05			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	58 [1] (-)	[-] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	
4年次	/		/		/		[-] (-)	[-] (-)	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	58 [1] (-)	[-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	58人	0人	平成29年度	人	人		0.00 %
合計	58人	0人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学部 数学物理学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	大学基礎論	1前	2			8	1	1			兼25	共同 オムニバス・共同
	学問基礎論	1後	2			8		5				
	課題探求実践セミナー	1前	2					1			兼35	
	英会話	1後	2								兼11	
	大学英語入門	1前	2								兼11	
	情報処理	1前	2								兼6	
	小計(6科目)	—	12			8	1	6			兼77	
教養科目	人文分野	1前		2							兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29) カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	倫理を考える	1後		2							兼1	
	核時代の倫理	1前		2							兼1	
	哲学を学ぶ	1後		2							兼1	
	哲学を学ぶ	1前		2							兼1	
	神話と儀礼	1後		2							兼1	
	神話と儀礼	1前		2							兼1	
	世界の宗教	1後		2							兼1	
	世界の宗教	1前		2							兼1	
	文化人類学入門	1後		2							兼1	
	文化人類学入門	1前		2							兼1	
	生物多様性から考える食と農の未来	1後		2							兼1	
	生物多様性から考える食と農の未来	1前		2							兼1	
	リラクゼーションの哲学	1後		2							兼1	
	リラクゼーションの哲学	1前		2							兼1	
	進化論の哲学	1後		2							兼1	
	進化論の哲学	1前		2							兼1	
	心理学を学ぶ	1後		2							兼1	
	心理学を学ぶ	1前		2							兼1	
	心理学を学ぶ	1前・後		2							兼1	
	教養としての恋愛・結婚・親しい対人関係の心理学	1後		2							兼1	
	教養としての恋愛・結婚・親しい対人関係の心理学	1前		2							兼1	
	地理学を学ぶ	1後		2							兼1	
	地理学を学ぶ	1前		2							兼1	
	歴史を考える	1後		2							兼1	
	歴史を考える	1前		2							兼1	
	歴史を考える	1後		2							兼1	
	歴史を考える	1前		2							兼1	
	もしも、古代中国で暮らしたら	1前・後		2							兼1	
	風景と空間の科学	1後		2							兼1	
	風景と空間の科学	1前		2							兼1	
	土佐の自由民権運動	1後		2							兼1	
	土佐の自由民権運動	1前		2							兼1	
基礎から学ぶ日本近代史	1後		2							兼1		
基礎から学ぶ日本近代史	1前		2							兼1		
考古学の論点	1後		2							兼1		
考古学の論点	1前		2							兼1		
長宗我部元親の四国制覇	1後		2							兼1		
長宗我部元親の四国制覇	1前		2							兼1		
空想の博物学	1後		2							兼1		
空想の博物学	1前		2							兼1		
文学を考える	1前・後		2							兼1		
文学を考える	1前		2							兼1		
日本語の世界—五十音図をめぐって	1後		2							兼1		
日本語の世界—五十音図をめぐって	1前		2							兼1		
源氏物語の恋愛と結婚	1後		2							兼1		
源氏物語の恋愛と結婚	1前		2							兼1		
小さな地名の調べかた	1後		2							兼1		
小さな地名の調べかた	1前		2							兼1		
外国文学	1後		2							兼3		
外国文学	1前		2							兼3		
日本古典再入門-語学的理解と内容理解と-	1後		2							兼1		
日本古典再入門-語学的理解と内容理解と-	1前		2							兼1		
教養の漢字学	1後		2							兼1		
教養の漢字学	1前		2							兼1		
説話を読む	1後		2							兼1		
説話を読む	1前		2							兼1		
文学と社会	1後		2							兼1		
文学と社会	1前		2							兼1		
マスメディアと音楽	1後		2							兼1		
マスメディアと音楽	1前		2							兼1		
ピアノ連弾を楽しもう	1後		2							兼1		
ピアノ連弾を楽しもう	1前		2							兼1		
デッサンの世界	1後		2							兼1		
デッサンの世界	1前		2							兼1		
オペラ入門	1後		2							兼1		
オペラ入門	1前		2							兼1		

	吹奏楽を楽しもう	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	彫刻入門	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	日本画を描いてみよう!	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	合唱初級	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	木彫入門	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	美術を学ぶ	1後	2						兼1	
	近代美術への接近	1後	2						兼1	
	文化財保存科学概論	1後	2						兼1	
	近現代哲学	1前	2						兼1	
	西洋思想文化論	1後	2						兼1	
	文章表現入門	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	四国の歴史と文化 その1 歴史編	1前	1						兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	四国の歴史と文化 その2 文化編	1前	1						兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	阿波学	1前	1						兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	香川の文化と歴史 その1	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	香川の文化と歴史 その2	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	モラエスの徳島	1後	2						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	日本におけるドイツ兵捕虜1914-1920	1後	2						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	ユーラシア大陸における人と金属生産の関わり	1後	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	小計(5137科目)	—	96 74						兼47 兼32	
社会分野	国際関係を考える	1後	2						兼1	
	国際関係を考える	1後	2						兼1	
	政治を考える	1後	2						兼1	
	政治を考える	1前	2						兼1	
	社会学を学ぶ	1後	2						兼1	
	社会学を学ぶ	1後	2						兼1	
	法を学ぶ	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	法を学ぶ	1後	2						兼1	
	憲法を学ぶ	1前・後	2						兼1	
	憲法を学ぶ	1前・後	2						兼1	
	企業経営を考える	1前	2						兼1	
	企業経営を考える	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	はじめての経営学	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	男女共同参画社会を考える	1前	2						兼2 兼1	オムニバス・集中 内容充実のため教員追加・実施形態変更(29)
	企業と労働を考える	1前	2						兼1	
	経済を考える	1後	2						兼1	
	経済を考える	1後	2						兼1	
	経済を考える	1前	2						兼1	
	経済を考える	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	経済を考える	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	お金と経済	1前	2						兼1	
	女性とライフ・キャリア-男女共同参画の視点から-	1前	2						兼1	
	子どもの成長と学び	1後	2						兼1	
	魚食文化で世界を見る	1後	2						兼1	
	社会福祉入門	1後	2						兼1	
	市民社会論入門	1前	2						兼1	
	社会調査データの分析	1後	2						兼3	オムニバス
	森との共生を探る	1前	2						兼1	
	市民生活と法	1後	2						兼1	
	平和と軍縮	1前	2						兼5	オムニバス
日本の刑事司法を考える	1後	2						兼1		
メディア社会論	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
英語レクチャー(ジェンダーをめぐる諸問題)	1後	2						兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)	

英語レクチャー(Gender Issues)	1後	2	兼4	オムニバス カリキュラム充実のため、科目追加(29)
消費者問題と法	1後	2	兼1	
障害を考える	1前	2	兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
障害者支援入門	1前	2	兼1	
障害者支援の理論と実践	1後	2	兼2	共同
現代日本の社会と政治	1後	2	兼1	
西洋経済史概論	1前	2	兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
西洋経済史入門	1前	2	兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
地域経済概説	1後	2	兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
福島原発事故を考える	1前	2	兼9	オムニバス
大学政策論入門	1前	2	兼2	オムニバス
非営利法人経営論入門	1後	2	兼4	内容充実のため教員追加・オムニバスに変更(29)
社会起業論	1通	2	兼2	オムニバス
まちづくり論	1前	2	兼4	内容充実のため教員追加・オムニバスに変更(29)
スポーツ文化論	1後	2	兼1	集中
食と農の経済学	1後	2	兼1	カリキュラム編成調整による、集中開講化(29)
社会的経営論	2通	2	兼3	集中
川と人の生活誌	1後	2	兼1	カリキュラム編成調整による、集中開講化(29)
地域活性化について学ぶ	1後	2	兼5	オムニバス
高知の中小企業を知る	1後	2	兼1	
高知県の産業と観光	1前	2	兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
高知の産業と地域活性化	1通	2	兼1	集中・カリキュラム充実のため(29)
地域の課題から地方創生を学ぶ	1前	2	兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
中山間地域の生活と環境 I	1通	2	兼2	集中
中山間地域の生活と環境 II	1通	2	兼2	集中
地域協働企画立案	1通	2	兼2	集中
地域協働実習I	2通	2	兼2	集中
地域協働自己分析	2通	2	兼2	集中
社会協働実践	2通	2	兼1	集中
協働実践自己分析	1通	2	兼1	集中
ソーシャルキャピタル論入門	1通	2	兼1	集中
地域政策演習(ふるさと活性ゼミ)	1後	2	兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
地域の中で武道を育てる	1前	2	兼1	集中
土佐の海の環境学I: 柏島の海から考える	1通	2	兼6	集中・オムニバス
グローバル化時代の日本論	1後	2	兼4	内容充実のため教員追加・オムニバスに変更(29)
国際ボランティア概論	1前	2	兼1	
地球的規模の課題と国際協力	1後	2	兼1	
ビジネスのための中国理解	1後	2	兼1	
量的研究法	1後	2	兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
大学の知の活用	1後	2	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
大学教育を考える	1後	2	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
行動統計学入門	1後	2	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
地域コンテンツと知財管理 その1	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
地域コンテンツと知財管理 その2	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
香川を学ぶ その1	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
香川を学ぶ その2	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
瀬戸内地域活性化政策 その1	1後	1	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
瀬戸内地域活性化政策 その2	1後	1	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
四国の地域振興 その1	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
四国の地域振興 その2	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
大学生のための『安全・安心』の基礎講座	1後	2	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)

	地域未来創成入門	1前	1					兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	カルチャー・シェアリング	1前	1					兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	ベシック国内サービスラーニング	1前	2					兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	ベシック海外サービスラーニング	1後	2					兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	小計(7667科目)	—	144 132					兼77 兼68	
生命・医療分野	スポーツ科学講義A	1後	2					兼1	
	スポーツ科学講義B	1後	2					兼1	
	スポーツ科学講義C	1前	2					兼1	
	スポーツ科学実技(硬式テニス)	1前・後	1					兼2	
	スポーツ科学実技(卓球)	1前・後	1					兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	スポーツ科学実技(バドミントン)	1前・後	1					兼2	
	スポーツ科学実技(ネット型ゲーム)	1前	1					兼1	
	スポーツ科学実技(フィットネス)	1前	1					兼1	
	スポーツ科学実技(ボウリング)	1前	1					兼1	集中
	スポーツ科学実技(一から学べる筋カトレニング)	1後	1					兼1	
	スポーツ科学実技(エアロビクス)	1後	1					兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	スポーツ科学実技(剣道)	1後	1					兼1	
	スポーツ科学実技(バスケットボール)	1後	1					兼1	
	スポーツ科学実技(ディスクゲーム)	1後	1					兼1	
	スポーツ科学実技(ジョギング入門)	1後	1					兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	スポーツ科学実技(スキーⅠ)	1後	1					兼1	集中
	スポーツ科学実技(スキーⅡ)	1後	1					兼1	集中
	スポーツ科学実技(スノーボードⅠ)	1後	1					兼1	集中
	スポーツ科学実技(スノーボードⅡ)	1後	1					兼1	集中
	健康A	1前	2					兼6 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)
	健康B	1前	2					兼7 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)
	健康C	1前	2					兼8 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)
	健康D	1前	2					兼8 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)
アルコール学概論	1前	2			1		兼2	オムニバス	
一般学生のための医療と医学の知識	1前	2					兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
知の探訪	1後	2					兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
	小計(2620科目)	—	36 28		1			兼36 兼24	
自然分野	数理の世界	1後	2					兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	法化学概論	1後	2					兼1	
	自然の法則	1前	2					兼5	オムニバス
	フードサイエンスの世界	1前	2					兼12	オムニバス
	ライフサイエンスの世界	1後	2					兼13	オムニバス
	バイオサイエンスの世界	1後	2					兼5	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	物質の科学	1後	2			1		兼13	オムニバス
	地球と宇宙	1後	2					兼2	オムニバス
	自然科学の歴史	1後	2			1		兼3	オムニバス
	環境化学物質をどう考えるか	1前	2					兼1	
	渚の自然史	1前	2					兼1	
	環境を考える	1前	2					兼1	
	黒潮圏科学の魅力	1前	2					兼15	オムニバス
	数学をとらえてみた生物	1前	2					兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	初学者の為の物理入門	1前	2					兼1	
	気象学入門	1前	2					兼1	メディア
	大地の災害	1前	2					兼2	オムニバス
	地震の災害	1前	2					兼1	

気象と波の災害	1後	2						兼2	オムニバス
災害と生きる	1後	2						兼2	オムニバス
魚と食と健康	1後	2						兼7	カリキュラム見直しのため廃止(29)
海洋を考える	1後	2						兼9	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
数の概念入門	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
生態系への人為的インパクト	1後	2						兼1	
生物時計のはなし	1後	2						兼1	
体験する数学	1後	2		1					
みのまわりの科学	1後	2						兼1	
高知の自然と地質資源	1後	2						兼1	
高知の農業と自然を实践して学ぶ	1前	2						兼7	集中・オムニバス
遺伝資源の利用と保全	1前	2						兼1	
地域の農林資源と環境科学	1後	2						兼7	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
土佐の自然と農林業	1前	2						兼7	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
身の回りの小さな生き物	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
植物の生殖	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
花粉を科学する	1後	2						兼1	
動物の進化	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
生命の科学	1前	2						兼2	オムニバス
植物バイオテクノロジー概論	1後	2						兼2	オムニバス
有機化学概論	1後	2						兼1	
微分・積分学入門	1通	2		1				兼2	オムニバス
物理学入門	1通	2		1				兼1	オムニバス
化学入門	1通	2						兼2	オムニバス
生物学入門	1通	2						兼15	オムニバス・共同
地球科学入門	1通	2						兼14	オムニバス
情報セキュリティ入門	1前	2						兼1	
初等プログラミング入門	1前	2						兼1	
海洋生物学基礎実習	1後	2						兼4	集中・オムニバス カリキュラム充実のため、科目追加(29)
化学専攻一年生の有機化学概論	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
瀬戸内海論 その1	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
瀬戸内海論 その2	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
コンピュータと教育 その1	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
コンピュータと教育 その2	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
情報のいろは	1後	2						兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
サイエンスリテラシーの化学	1後	2						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
現代科学と研究倫理	1後	2						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
タンパク質で生命を斬る	1後	2						兼9	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
自動車概論	1後	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
四国の自然環境と防災 その1	1後	1						兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
四国の自然環境と防災 その2	1後	1						兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
太陽光利用型植物工場における知能的農作物生産	1後	1						兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
飛行機はなぜ飛ぶのか	1後	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
小計(5442科目)		99 94		4	1			兼156 兼104	
外国語分野									
TOEIC英語	1前・後	2						兼2	
国際英語	1前	2						兼2	
教養英会話	1前・後	2						兼4	
リーディング・スキル	1前・後	2						兼1	
ドイツ語 I	1前・後	2						兼7	
ドイツ語 II	1後	2						兼3	
フランス語 I	1前	2						兼2	
フランス語 II	1後	2						兼1	
中国語 I	1前・後	2						兼5	

	中国語Ⅱ	1前・後	2						兼5	
	韓国語(朝鮮語)Ⅰ	1前・後	2						兼1	
	韓国語(朝鮮語)Ⅱ	1後	2						兼1	
	スペイン語Ⅰ	1前	2						兼1	
	スペイン語Ⅱ	1後	2						兼1	
	小計(14科目)	—	28						兼27	
キャリア形成支援分野	CBI実習Ⅰ	2前	2						兼1	集中
	CBI実習Ⅱ	2前	2						兼1	集中
	CBI実習Ⅲ	2前	2						兼1	集中
	CBI実習Ⅳ	2前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	CBIキャリア開発講座A	2前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	CBIキャリア開発講座B	2前	2						兼1	集中
	CBI自己分析	2前	2						兼1	集中
	CBI企画立案	1後	2						兼4	オムニバス・集中
	キャリアパス演習—ライティング養成講座—	1前	2						兼1	
	キャリアパス演習—プライベートデザイン講座—	1後	2						兼1	
	進路決定支援演習—自分プレゼンテーション法—	1前	2						兼1	集中
	進路決定支援演習—職業選択とキャリアプラン—	1後	2						兼1	担当教員退職のため、廃止(29)
	チームワークを考える	1前	2						兼1	
	大学生活と心理学	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	ピアサポート理論と実践	1後	2						兼1	
	アクティブラーニング入門	1前	1						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	キャリアで活かすITリテラシー	1後	1						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	地域キャリア論	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	グローバルコミュニケーション	通年	2						兼2	集中・共同 カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	大学生活入門	1前	2						兼1	担当教員退職のため、廃止(29)
	学びの統合入門	1後	2						兼1	担当教員退職のため、廃止(29)
	生涯教育論	1前	2						兼1	
	教育学概論B	1後	2						兼1	
	教育学概論C	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	教育学概論D	1前	2						兼1	
	教育学概論E	1前	2						兼1	
	教育心理学概論B	1前	2						兼1	
	教育心理学概論C	1後	2						兼1	
	教育心理学概論D	1前	2						兼1	
	地域未来創成入門	1前	1						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
カルチャーシェアリング	1前	1						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)	
ベーシック国内サービスラーニング	1前	4						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)	
ベーシック海外サービスラーニング	1後	4						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)	
アドバンスド国内サービスラーニング	1前	4						兼2	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
アドバンスド海外サービスラーニング	1後	4						兼2	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
学校教員の世界	1後	2						兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
	小計(3024科目)	—	64 48						兼20 兼14	
日本語	日本語Ⅰ	1前	2						兼1	
	日本語Ⅱ	1前	2						兼1	
	日本語Ⅲ	1後	2						兼1	
	日本語Ⅳ	1後	2						兼1	
	小計(4科目)	—	8						兼4	
日本事情	日本事情Ⅰ	1前	2						兼1	
	日本事情Ⅱ	1後	2						兼1	
	日本事情Ⅲ	1前	2						兼1	
	日本事情Ⅳ	1後	2						兼1	
	日本事情Ⅴ	1前	2						兼1	

		日本事情Ⅵ	1後		2							兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)	
		小計(56科目)	—		10 12							兼3 兼4		
専門科目	学部共通科目群	理工系基礎科目	微分積分学概論	1前		2			1					
		線形代数学概論	1前		2		1							
		微分積分学基礎	1前		2		1	1					共同	
		理工系数学(論理と集合)	1前		2		1						共同	
		理工系線形代数学	1前・後		2		1	1					共同	
		理工系微分積分学	1後		2			1						
		防災理工学概論	2前	2								兼7	オムニバス	
		理工学研究プロポーザル	3後	2			8	6	1					オムニバス・共同
	小計(8科目)	—	4	12		8	6	1			兼7			
	インベーション人材育成科目群	グローバル強化科目	科学者・技術者倫理	1後	2			1					兼3	オムニバス
			リスクマネジメント	2前	2					1			兼5	オムニバス
			キャリアデザインⅠ	2後		2							兼1	集中
			キャリアデザインⅡ	2後		2							兼1	集中
			実践キャリアデザイン	3前		2							兼1	集中
小計(5科目)			—	4	6		1		1			兼9		
学部基礎科目群	数学系科目	科学英語	2前・後	2								兼2		
		理工学英語ゼミナールⅠ	3前・後	2			4	4					共同	
		理工学英語ゼミナールⅡ	4前	2			8	6	1				共同	
		小計(3科目)	—	6			8	6	1			兼1		
学部基礎科目群	物理系科目	理学情報処理演習	2後	2			1	1					共同	
		線形代数学Ⅰ	1後		2		1							
		線形代数学Ⅱ	2前		2				1					
		一変数の微分積分	1後		2		1							
		多変数の微分積分	2前		2		1							
		距離と位相	2前		2		1							
		群論	2前		2		1							
	確率論	2前		2				1						
	小計(7科目)	—		14		3	2							
	概論系科目	力学Ⅰ	1後		2		1							
		電磁気学Ⅰ	2前		2		1					兼1	共同	
		熱力学	1後		2				1					
		量子力学Ⅰ	3前		2		1							
		物理数学Ⅰ	1後		2		1	1				兼1	共同	
物理数学Ⅱ		2前		2		1	1				兼1	共同		
基礎物理学実験		1前・後		2		1	1				兼2	共同		
小計(7科目)	—		14		3	2	1			兼3				
概論系科目	物理学概論	1前・後		2		2							共同	
	情報科学概論	1前		2							兼1			
	化学概論	1前・後		2							兼3	オムニバス		
	生物学概論	1前・後		2							兼7 兼5	オムニバス 開講クラス追加に伴い担当教員を追加(29)		
	地球科学概論	1前・後		2							兼4	オムニバス・共同		
小計(5科目)	—		10		2					兼15 兼13				

応用物理学分野科目	物性科学序論	2後		2			1						
	物理化学Ⅰ	2後		2			1						
	物理化学Ⅱ	3前		2			1						
	物理化学演習	3前		2				1					
	固体化学	3後		2							兼1		
	物性化学特論	3・4前		2							兼1	集中・隔年	
	小計(6科目)	—		12			2	1			兼1		
実験科目	基礎化学実験Ⅰ	1前・後		1				1			兼5	オムニバス	
	基礎化学実験Ⅱ	1前・後		1				1			兼5	オムニバス	
	基礎生物学実験	1前・後		2							兼20 兼18	オムニバス 開講クラス追加に伴い担当教員を追加(29)	
	基礎地学実験	1前・後		2							兼12	オムニバス	
	物理科学実験Ⅰ	2前		2		2	1	1				共同	
	物理科学実験Ⅱ	3前		2		2	2	1				共同	
	小計(6科目)	—		10		2	2	1			兼34 兼32		
学科専攻科目群 (情報関連科目)	応用数学	2後		2							兼1		
	シミュレーション工学	3後		2							兼1		
	数値解析	3後		2							兼1		
	離散数学	2前		2							兼1		
	情報解析学	2・3後		2							兼1	隔年	
	計算幾何学入門	2・3後		2							兼1	隔年	
	組合せとグラフの理論	2前		2							兼1		
	小計(7科目)	—		14							兼3		
卒業研究	4通	8			8	6	1					共同	
合計(367 321 科目)				36	667 596		8	6	1		兼408 兼292		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
15	306		321	15	352		367	
				[]	[46]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	核時代の倫理	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
2	教養としての恋愛・結婚・親しい対人関係の心理学	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
3	基礎から学ぶ日本近代史	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
4	長宗我部元親の四国制覇	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
5	マスメディアと音楽	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
6	ピアノ連弾を楽しもう	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
7	デッサンの世界	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
8	企業経営を考える	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
9	経済を考える	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
10	経済を考える	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
11	英語レクチャー(ジェンダーをめぐる諸問題)	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
12	西洋経済史概論	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
13	高知県の産業と観光	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
14	地域の課題から地方創生を学ぶ	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
15	地域政策演習(ふるさと活性ゼミ)	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
16	数理の世界	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
17	バイオサイエンスの世界	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
18	数学をとおしてみた生物	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
19	魚と食と健康	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
20	身の回りの小さな生き物	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
21	植物の生殖	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
22	動物の進化	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
23	CBI実習IV	2	2前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
24	CBIキャリア開発講座A	2	2前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
25	進路決定支援演習-職業選択とキャリアプラン-	2	1後	一般	選択	担当教員退職のため、廃止
26	大学生活と心理学	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
27	大学生活入門	2	1前	一般	選択	担当教員退職のため、廃止
28	学びの統合入門	2	1後	一般	選択	担当教員退職のため、廃止
29	日本事情VI	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学の共通教育のカリキュラム見直しに伴い廃止となった科目については、併せて科目の新設も行っているため、教育の質の確保はできている。学生には履修案内・教務情報システム等において、開講科目を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{29}{321} = \boxed{9.03} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	451,584㎡	0㎡	0㎡	451,584㎡				
	運動場用地	65,901㎡	0㎡	0㎡	65,901㎡				
	小 計	517,485㎡	0㎡	0㎡	517,485㎡				
	そ の 他	1,573,787㎡	0㎡	0㎡	1,573,787㎡				
	合 計	2,091,272㎡	0㎡	0㎡	2,091,272㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 面積区分等変更による増(29)			
		130,150㎡ 130,140㎡ (130,150㎡) -(130,140㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	130,150㎡ 130,140㎡ (130,150㎡) -(130,140㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	理工学部及び共通教育部分			
	32室	32室	116室	8室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	理工学部 数学物理学科			15 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数	
	理工学部 数学物理学科	735,713 [194,298]	19,538 [5,667]	10,785 [10,206]	2,963	3,822	0		
		723,599 [190,654]	29,678 [15,038]	9,956 [9,387]	2,827	4,033	0		
	計	735,713 [194,298]	19,538 [5,667]	10,785 [10,206]	2,963	3,822	0		
		723,599 [190,654]	29,678 [15,038]	9,956 [9,387]	2,827	4,033	0		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	9,557㎡ 9,649㎡		712		836,168		申請時の誤記載(算入していなかった平成27年度改修分を算入し再計算)(29)		
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	4,794㎡ 3,700㎡		柔・剣道場、弓道場、テニスコート、プール等を有している				申請時の誤記載(算入していなかった南体育館分を算入し再計算)(29)		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			—						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	高知大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部							平成15	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
人間文化学科	4	—	—	—	学士(文学) 学士(学術)	—			*平成28年度改組に伴い募集停止
国際社会 コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士(学術)	—			*平成28年度改組に伴い募集停止
社会経済学科	4	—	—	—	学士(経済学) 学士(学術)	—			*平成28年度改組に伴い募集停止
人文社会科学部							平成28	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
人文社会科学科	4	275		1,120	学士(文学) 学士(学術) 学士(経済学)	1.05			*平成28年度改組
		—	3年次 10	20					
教育学部							平成15	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
学校教育教員養成課程	4	130	—	520	学士(教育)	1.04			
生涯教育課程	4	—	—	—	学士(教養) 学士(学術)	—			*平成27年度改組に伴い募集停止
理学部							平成19	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
理学科	4	—	—	—	学士(理学)	—			*平成29年度改組に伴い募集停止
応用理学科	4	—	—	—		—			*平成29年度改組に伴い募集停止
(学科共通)		—	3年次 10	20					

理工学部						平成29	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
数学物理学科	4	55	—	220	学士(理学)	1.05		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
情報科学科	4	30	—	120	学士(理工学)	1.10		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
生物科学科	4	45	—	180	学士(理学)	1.08		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
化学生命理工学科	4	70	—	280	学士(理工学)	1.05		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
地球環境防災学科	4	40	—	160	学士(理工学)	1.10		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
医学部						平成15	高知県南国市岡豊町小蓮	
医学科	6	110	2年次 ₅	672	学士(医学)	1.00		*医学部医学科の 収容定員のうち30 名は、平成29年ま での措置。 *医学部医学科の 収容定員のうち42 名は、平成31年ま での措置。
看護学科	4	60	3年次 ₁₀	260	学士(看護学) 学士(学術)	1.00		
農学部						平成19	高知県南国市物部乙200	
農学科	4	—	—	—	学士(農学) 学士(学術)	—		*平成28年度改組 に伴い募集停止
農林海洋科学部						平成28	高知県南国市物部乙200	
農林資源環境科学科		90	—	360	学士(農学)	1.03		*平成28年度改組

農芸化学科		45	—	180	学士（農学） 学士（学術）	1.05			*平成28年度改組
海洋資源科学科		65	—	260	学士（海洋科学）	1.03			*平成28年度改組
地域協働学部							平成27	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
地域協働学科	4	60	—	240	学士（地域協働学）	1.03			*平成27年度新設
【大学院】									
医学系研究科							平成15	高知県南国市岡豊町小蓮	*平成20年度改組に伴い募集停止
生命医学系専攻	4	—	—	—		—			
神経科学系専攻	4	—	—	—	博士（医学）	—			
社会医学系専攻	4	—	—	—		—			
黒潮圏海洋科学研究科							平成16	高知県南国市物部乙200	*平成20年度改組に伴い募集停止
黒潮圏海洋科学専攻	3	—	—	—	博士（学術）	—			
総合人間自然科学研究科							平成20		*平成20年度改組
人文社会科学専攻	2	10	—	20	修士（文学） 修士（学術） 修士（経済学）	0.65		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
教育学専攻	2	30	—	60	修士（教育学） 修士（学術）	0.66		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
理学専攻	2	75	—	150	修士（理学） 修士（学術）	0.59		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
医科学専攻	2	15	—	30	修士（医科学） 修士（公衆衛生学） 修士（学術）	0.76		高知県南国市岡豊町小蓮	

看護学専攻	2	12	—	24	修士（看護学） 修士（学術）	1.37		高知県南国市岡豊町小蓮	
農学専攻	2	59	—	118	修士（農学） 修士（学術）	0.63		高知県南国市物部乙200	
応用自然科学専攻	3	6	—	18	博士（理学） 博士（学術）	0.55		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
医学専攻	4	30	—	120	博士（医学）	0.63		高知県南国市岡豊町小蓮	
黒潮圏総合科学専攻	3	6	—	18	博士（学術）	0.66		高知県南国市物部乙200	
大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
8	6	1	0	15	8	6	1	0	15	8	6	1	0	15
(8)	(6)	(1)	(0)	(15)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
該当なし									
合計（A）					後任補充状況の集計（B）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
該当なし		必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
該当なし									
合計（C）					後任補充状況の集計（D）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
該当なし		必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）		後任補充状況の集計（B）+（D）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
該当なし		必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<div data-bbox="539 510 890 609" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 該当なし </div>				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<理工学部 数学物理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">該当なし</div>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・理工学部学務委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>委員会は、次の委員をもって組織する。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 学部の学務担当の副学部長(2) 学科から（数学物理学科はコースから）選出された者 各1人 <p>毎月1回開催予定。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・教育力向上に向けた取組計画について等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・理工学部キックオフシンポジウム・アドバイザー教員に関する研修会・理工学的視点を持つための教員FD活動 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・公開シンポジウム・学生との面談に必要な準備と心得に関するFD（平成29年4月12日） <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・理工学部キックオフシンポジウム開催（平成28年11月23日） 専任教員・兼任予定教員 61名参加・理工学部 専任教員・兼務担当教員のための研修会（平成29年4月12日） 専任教員68名・兼任教員5名参加 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>実施結果を踏まえ、授業改善に向けて検討を進めている。</p>
--

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各科目において、第5週目に学生による授業評価アンケートを実施し、7週目にアンケート結果に基づくアクションプランを学生に提示し、その後15週目に最終授業評価アンケートを実施して、授業改善の効果を検証する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

実施結果及び分析結果の総評は教員間で共有する。また、各科目ごとの結果については当該教員に個別に通知する。学生への公開については、「アクションプラン」及び教務情報システムを通じて公表することを予定している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を達成するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成29年度設置の学部のため、平成30年度に自己点検・評価を実施し、同年10月に報告書を公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書「年次報告書」を刊行し、全保護者に送付する。

・大学ホームページ上に公開予定(平成30年10月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

平成26年度に大学として受審したため、平成33年度までに受審を予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成29年 9月)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人高知大学

(2) 大学名

高知大学

(3) 大学の位置

〒780-8520
高知県高知市曙町二丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	該当なし		
学長	(ワキグチ ヒロシ) 脇口 宏 (平成24年4月1日)		
学部長	(スズキ トモヒコ) 鈴木 知彦 (平成29年4月1日)		
学科長等	(トヨナガ マサヒコ) 豊永 昌彦 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 情報科学科 学士(理工学)	理学 工学	4年	30人	3年次 2人	124人	編入学定員は平成31年度入学生から募集開始

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	30人 []	() []	1.10倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	205 [11]	() []		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	180 [9]	() []		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	37 [1]	() []		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	33 [1]	() []		
入学定員超過率 B/A							1.10			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	33 [1] (-)	[-] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	
4年次	/		/		/		[-] (-)	[-] (-)	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	33 [1] (-)	[-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	33人	0人	平成29年度	人	人		0.00 %
合計	33人	0人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学部 情報科学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	大学基礎論	1前	2			4					兼31	共同
	学問基礎論	1後	2				1					
	課題探求実践セミナー	1前	2								兼36	共同
	英会話	1後	2								兼11	
	大学英語入門	1前	2								兼11	
	情報処理	1前	2			2	3	1				共同
	小計(6科目)	—	12			4	3	1			兼79	
教養科目	人文分野	1前		2							兼1	
	倫理を考える	1後		2							兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	核時代の倫理	1前		2							兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	哲学を学ぶ	1後		2							兼1	
	哲学を学ぶ	1前		2							兼1	
	神話と儀礼	1後		2							兼1	
	世界の宗教	1前		2							兼1	
	文化人類学入門	1後		2							兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	生物多様性から考える食と農の未来	1前		2							兼1	
	リラクゼーションの哲学	1後		2							兼1	
	進化論の哲学	1前		2							兼1	
	心理学を学ぶ	1後		2							兼1	
	心理学を学ぶ	1前・後		2							兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	教養としての恋愛・結婚・親しい対人関係の心理学	1後		2							兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	地理学を学ぶ	1前		2							兼1	
	地理学を学ぶ	1後		2							兼1	
	歴史を考える	1前		2							兼1	
	歴史を考える	1前		2							兼1	
	歴史を考える	1後		2							兼1	
	もしも、古代中国で暮らしたら	1前・後		2							兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	風景と空間の科学	1前		2							兼1	
	土佐の自由民権運動	1後		2							兼1	
	基礎から学ぶ日本近代史	1前		2							兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	考古学の論点	1後		2							兼1	
	長宗我部元親の四国制覇	1前		2							兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	空想の博物学	1後		2							兼1	
	文学を考える	1前		2							兼1	
	日本語の世界—五十音図をめぐって	1前・後		2							兼1	
	源氏物語の恋愛と結婚	1前・後		2							兼1	
	小さな地名の調べかた	1前		2							兼1	
	外国文学	1前		2							兼3	オムニバス
	日本古典再入門-語学的理解と内容理解と-	1後		2							兼1	
	日本語方言の探究	1前		2							兼1	
教養の漢字学	1後		2							兼1		
説話を読む	1後		2							兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
文学と社会	1後		2							兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
マスメディアと音楽	1前		2							兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)	
ピアノ連弾を楽しもう	1後		2							兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)	
デッサンの世界	1後		2							兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)	
オペラ入門	1前		2							兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	

	吹奏楽を楽しもう	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	彫刻入門	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	日本画を描いてみよう!	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	合唱初級	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	木彫入門	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	美術を学ぶ	1後	2						兼1	
	近代美術への接近	1後	2						兼1	
	文化財保存科学概論	1後	2						兼1	
	近現代哲学	1前	2						兼1	
	西洋思想文化論	1後	2						兼1	
	文章表現入門	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	四国の歴史と文化 その1 歴史編	1前	1						兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	四国の歴史と文化 その2 文化編	1前	1						兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	阿波学	1前	1						兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	香川の文化と歴史 その1	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	香川の文化と歴史 その2	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	モラエスの徳島	1後	2						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	日本におけるドイツ兵捕虜1914-1920	1後	2						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	ユーラシア大陸における人と金属生産の関わり	1後	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	小計(5137科目)	—	96 74						兼47 兼32	
社会分野	国際関係を考える	1後	2						兼1	
	国際関係を考える	1後	2						兼1	
	政治を考える	1後	2						兼1	
	政治を考える	1前	2						兼1	
	社会学を学ぶ	1後	2						兼1	
	社会学を学ぶ	1後	2						兼1	
	法を学ぶ	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	法を学ぶ	1後	2						兼1	
	憲法を学ぶ	1前・後	2						兼1	
	憲法を学ぶ	1前・後	2						兼1	
	企業経営を考える	1前	2						兼1	
	企業経営を考える	1後	2						兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	はじめての経営学	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	男女共同参画社会を考える	1前	2						兼2 兼4	オムニバス・集中 内容充実のため教員追加・実施形態変更(29)
	企業と労働を考える	1前	2						兼1	
	経済を考える	1後	2						兼1	
	経済を考える	1後	2						兼1	
	経済を考える	1前	2						兼1	
	経済を考える	1後	2						兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	経済を考える	1後	2						兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	お金と経済	1前	2						兼1	
	女性とライフ・キャリア-男女共同参画の視点から-	1前	2						兼1	
	子どもの成長と学び	1後	2						兼1	
	魚食文化で世界を見る	1後	2						兼1	
	社会福祉入門	1後	2						兼1	
	市民社会論入門	1前	2						兼1	
	社会調査データの分析	1後	2						兼3	オムニバス
	森との共生を探る	1前	2						兼1	
	市民生活と法	1後	2						兼1	
	平和と軍縮	1前	2						兼5	オムニバス
	日本の刑事司法を考える	1後	2						兼1	
	メディア社会論	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
英語レクチャー(ジェンダーをめぐる諸問題)	1後	2						兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)	

英語レクチャー(Gender Issues)	1後	2	兼4	オムニバス カリキュラム充実のため、科目追加(29)
消費者問題と法	1後	2	兼1	
障害を考える	1前	2	兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
障害者支援入門	1前	2	兼1	
障害者支援の理論と実践	1後	2	兼2	共同
現代日本の社会と政治	1後	2	兼1	
西洋経済史概論	1前	2	兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
西洋経済史入門	1前	2	兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
地域経済概説	1後	2	兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
福島原発事故を考える	1前	2	兼9	オムニバス
大学政策論入門	1前	2	兼2	オムニバス
非営利法人経営論入門	1後	2	兼4	内容充実のため教員追加・オムニバスに変更(29)
			兼2	オムニバス
			兼4	内容充実のため教員追加・オムニバスに変更(29)
社会起業論	1通	2	兼1	集中 カリキュラム編成調整による、集中開講化(29)
まちづくり論	1前	2	兼1	
スポーツ文化論	1後	2	兼1	
食と農の経済学	1後	2	兼1	
社会的経営論	2通	2	兼3	集中 カリキュラム編成調整による、集中開講化(29)
川と人の生活誌	1後	2	兼1	
地域活性化について学ぶ	1後	2	兼5	オムニバス
高知の中小企業を知る	1後	2	兼1	
高知県の産業と観光	1前	2	兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
高知の産業と地域活性化	1通	2	兼1	集中・カリキュラム充実のため(29)
地域の課題から地方創生を学ぶ	1前	2	兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
中山間地域の生活と環境 I	1通	2	兼2	集中
中山間地域の生活と環境 II	1通	2	兼2	集中
地域協働企画立案	1通	2	兼2	集中
地域協働実習I	2通	2	兼2	集中
地域協働自己分析	2通	2	兼2	集中
社会協働実践	2通	2	兼1	集中
協働実践自己分析	1通	2	兼1	集中
ソーシャルキャピタル論入門	1通	2	兼1	集中
地域政策演習(ふるさと活性ゼミ)	1後	2	兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
地域の中で武道を育てる	1前	2	兼1	集中
土佐の海の環境学I: 柏島の海から考える	1通	2	兼6	集中・オムニバス
			兼4	内容充実のため教員追加・オムニバスに変更(29)
グローバル化時代の日本論	1後	2	兼1	
国際ボランティア概論	1前	2	兼1	
地球的規模の課題と国際協力	1後	2	兼1	
ビジネスのための中国理解	1後	2	兼1	
量的研究法	1後	2	兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
大学の知の活用	1後	2	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
大学教育を考える	1後	2	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
行動統計学入門	1後	2	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
地域コンテンツと知財管理 その1	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
地域コンテンツと知財管理 その2	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
香川を学ぶ その1	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
香川を学ぶ その2	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
瀬戸内地域活性化政策 その1	1後	1	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
瀬戸内地域活性化政策 その2	1後	1	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
四国の地域振興 その1	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
四国の地域振興 その2	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
大学生のための『安全・安心』の基礎講座	1後	2	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)

	地域未来創成入門	1前	1					兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	カルチャースフェアリング	1前	1					兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	ベシツク国内サービスラーニング	1前	2					兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	ベシツク海外サービスラーニング	1後	2					兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	小計(7667科目)	—	144 132					兼77 兼68	
生命・医療分野	スポーツ科学講義A	1後	2					兼1	
	スポーツ科学講義B	1後	2					兼1	
	スポーツ科学講義C	1前	2					兼1	
	スポーツ科学実技(硬式テニス)	1前・後	1					兼2	
	スポーツ科学実技(卓球)	1前・後	1					兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	スポーツ科学実技(バドミントン)	1前・後	1					兼2	
	スポーツ科学実技(ネット型ゲーム)	1前	1					兼1	
	スポーツ科学実技(フィットネス)	1前	1					兼1	
	スポーツ科学実技(ボウリング)	1前	1					兼1	集中
	スポーツ科学実技(一から学べる筋カトレニング)	1後	1					兼1	
	スポーツ科学実技(エアロビクス)	1後	1					兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	スポーツ科学実技(剣道)	1後	1					兼1	
	スポーツ科学実技(バスケットボール)	1後	1					兼1	
	スポーツ科学実技(ディスクゲーム)	1後	1					兼1	
	スポーツ科学実技(ジョギング入門)	1後	1					兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	スポーツ科学実技(スキーⅠ)	1後	1					兼1	集中
	スポーツ科学実技(スキーⅡ)	1後	1					兼1	集中
	スポーツ科学実技(スノーボードⅠ)	1後	1					兼1	集中
	スポーツ科学実技(スノーボードⅡ)	1後	1					兼1	集中
	健康A	1前	2					兼6 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)
	健康B	1前	2					兼7 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)
	健康C	1前	2					兼8 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)
	健康D	1前	2					兼8 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)
アルコール学概論	1前	2					兼3	オムニバス	
一般学生のための医療と医学の知識	1前	2					兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
知の探訪	1後	2					兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
	小計(2620科目)	—	36 28					兼37 兼22	
自然分野	数理の世界	1後	2					兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	法化学概論	1後	2					兼1	
	自然の法則	1前	2					兼5	オムニバス
	フードサイエンスの世界	1前	2					兼12	オムニバス
	ライフサイエンスの世界	1後	2					兼13	オムニバス
	バイオサイエンスの世界	1後	2					兼5	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	物質の科学	1後	2					兼14	オムニバス
	地球と宇宙	1後	2					兼2	オムニバス
	自然科学の歴史	1後	2					兼4	オムニバス
	環境化学物質をどう考えるか	1前	2					兼1	
	渚の自然史	1前	2					兼1	
	環境を考える	1前	2					兼1	
	黒潮圏科学の魅力	1前	2					兼15	オムニバス
	数学をとらえてみた生物	1前	2					兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	初学者の為の物理入門	1前	2					兼1	
	気象学入門	1前	2					兼1	メディア
	大地の災害	1前	2					兼2	オムニバス
	地震の災害	1前	2					兼1	

気象と波の災害	1後	2						兼2	オムニバス
災害と生きる	1後	2						兼2	オムニバス
魚と食と健康	1後	2						兼7	カリキュラム見直しのため廃止(29)
海洋を考える	1後	2						兼9	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
数の概念入門	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
生態系への人為的インパクト	1後	2						兼1	
生物時計のはなし	1後	2						兼1	
体験する数学	1後	2						兼1	
みのまわりの科学	1後	2						兼1	
高知の自然と地質資源	1後	2						兼1	
高知の農業と自然を实践して学ぶ	1前	2						兼7	集中・オムニバス
遺伝資源の利用と保全	1前	2						兼1	
地域の農林資源と環境科学	1後	2						兼7	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
土佐の自然と農林業	1前	2						兼7	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
身の回りの小さな生き物	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
植物の生殖	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
花粉を科学する	1後	2						兼1	
動物の進化	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
生命の科学	1前	2						兼2	オムニバス
植物バイオテクノロジー概論	1後	2						兼2	オムニバス
有機化学概論	1後	2						兼1	
微分・積分学入門	1通	2						兼3	オムニバス
物理学入門	1通	2						兼2	オムニバス
化学入門	1通	2						兼2	オムニバス
生物学入門	1通	2						兼15	オムニバス・共同
地球科学入門	1通	2						兼14	オムニバス
情報セキュリティ入門	1前	2						兼1	
初等プログラミング入門	1前	2						兼1	
海洋生物学基礎実習	1後	2						兼4	集中・オムニバス カリキュラム充実のため、科目追加(29)
化学専攻一年生の有機化学概論	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
瀬戸内海論 その1	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
瀬戸内海論 その2	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
コンピュータと教育 その1	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
コンピュータと教育 その2	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
情報のいろは	1後	2						兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
サイエンスリテラシーの化学	1後	2						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
現代科学と研究倫理	1後	2						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
タンパク質で生命を斬る	1後	2						兼9	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
自動車概論	1後	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
四国の自然環境と防災 その1	1後	1						兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
四国の自然環境と防災 その2	1後	1						兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
太陽光利用型植物工場における知能的農作物生産	1後	1						兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
飛行機はなぜ飛ぶのか	1後	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
小計(5442科目)		99 94						兼161 兼109	
外国語分野									
TOEIC英語	1前・後	2						兼2	
国際英語	1前	2						兼2	
教養英会話	1前・後	2						兼4	
リーディング・スキル	1前・後	2						兼1	
ドイツ語 I	1前・後	2						兼7	
ドイツ語 II	1後	2						兼3	
フランス語 I	1前	2						兼2	
フランス語 II	1後	2						兼1	
中国語 I	1前・後	2						兼5	

	中国語Ⅱ	1前・後	2						兼5	
	韓国語(朝鮮語)Ⅰ	1前・後	2						兼1	
	韓国語(朝鮮語)Ⅱ	1後	2						兼1	
	スペイン語Ⅰ	1前	2						兼1	
	スペイン語Ⅱ	1後	2						兼1	
	小計(14科目)	—	28						兼27	
キャリア形成支援分野	CBI実習Ⅰ	2前	2						兼1	集中
	CBI実習Ⅱ	2前	2						兼1	集中
	CBI実習Ⅲ	2前	2						兼1	集中
	CBI実習Ⅳ	2前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	CBIキャリア開発講座A	2前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	CBIキャリア開発講座B	2前	2						兼1	集中
	CBI自己分析	2前	2						兼1	集中
	CBI企画立案	1後	2						兼4	オムニバス・集中
	キャリアパス演習—ライティング養成講座—	1前	2						兼1	
	キャリアパス演習—プライベートデザイン講座—	1後	2						兼1	
	進路決定支援演習—自分プレゼンテーション法—	1前	2						兼1	集中
	進路決定支援演習—職業選択とキャリアプラン—	1後	2						兼1	担当教員退職のため、廃止(29)
	チームワークを考える	1前	2						兼1	
	大学生活と心理学	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	ピアサポート理論と実践	1後	2						兼1	
	アクティブラーニング入門	1前	1						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	キャリアで活かすITリテラシー	1後	1						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	地域キャリア論	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	グローバルコミュニケーション	通年	2						兼2	集中・共同 カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	大学生活入門	1前	2						兼1	担当教員退職のため、廃止(29)
	学びの統合入門	1後	2						兼1	担当教員退職のため、廃止(29)
	生涯教育論	1前	2						兼1	
	教育学概論B	1後	2						兼1	
	教育学概論C	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	教育学概論D	1前	2						兼1	
	教育学概論E	1前	2						兼1	
	教育心理学概論B	1前	2						兼1	
	教育心理学概論C	1後	2						兼1	
	教育心理学概論D	1前	2						兼1	
	地域未来創成入門	1前	1						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
カルチャーシェアリング	1前	1						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)	
ベーシック国内サービスラーニング	1前	4						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)	
ベーシック海外サービスラーニング	1後	4						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)	
アドバンスド国内サービスラーニング	1前	4						兼2	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
アドバンスド海外サービスラーニング	1後	4						兼2	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
学校教員の世界	1後	2						兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
	小計(3024科目)	—	64 48						兼20 兼14	
日本語	日本語Ⅰ	1前	2						兼1	
	日本語Ⅱ	1前	2						兼1	
	日本語Ⅲ	1後	2						兼1	
	日本語Ⅳ	1後	2						兼1	
	小計(4科目)	—	8						兼4	
日本事情	日本事情Ⅰ	1前	2						兼1	
	日本事情Ⅱ	1後	2						兼1	
	日本事情Ⅲ	1前	2						兼1	
	日本事情Ⅳ	1後	2						兼1	
	日本事情Ⅴ	1前	2						兼1	

		日本事情Ⅵ	1後		2							兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)	
		小計(56科目)	—		10 12							兼3 兼4		
専 門 科 目	学 部 共 通 科 目 群	理工系基礎科目	微分積分学基礎	1前	2							兼2	共同	
		理工系線形代数学	1前	2								兼2	共同	
		防災理工学概論	2前	2								兼7	オムニバス	
		理工学研究プロポーザル	3後	2			4	5	1				共同	
			小計(4科目)	—	8			4	5	1			兼10	
		イ ン ベ ー シ ョ ン 人 材 育 成 科 目 群	科学者・技術者倫理	1後	2								兼4	オムニバス
			リスクマネジメント	2前	2								兼6	オムニバス
			キャリアデザインⅠ	2後		2							兼1	集中
			キャリアデザインⅡ	2後		2							兼1	集中
			実践キャリアデザイン	3前		2							兼1	集中
			小計(5科目)	—	4	6							兼11	
		ク ロ ー バ ル 化 強 化 科 目 群	科学英語	2前・後	2								兼1	
			理工学英語ゼミナールⅠ	3前・後	2			4	5	1				共同
	理工学英語ゼミナールⅡ		4前	2			4	5	1				共同	
		小計(3科目)	—	6			4	5	1			兼1		
学 科 基 礎 科 目 群		物理学概論	1前・後	2								兼2	共同	
		情報科学概論	1前	2					1					
		理工学情報処理演習	1後	2			1							
		プログラミング演習Ⅰ	2前	2					1					
		プログラミング演習Ⅱ	2後	2			1							
		離散数学	2前		2					1				
		組合せとグラフの理論	2前		2					1				
		応用数学	2後		2					1				
		情報処理技術Ⅰ	3前		2								兼1	
		情報処理技術Ⅱ	3後		2								兼1	
		情報社会と情報倫理	3後		2			1						
		情報と職業	3後		2			1						
		一変数の微分積分	1後		2								兼1	
		多変数の微分積分	2前		2								兼1	
		群論	2前		2								兼1	
		距離と位相	2前		2								兼1	
		確率論	2前		2								兼1	
		代数学演習	2後		2								兼1	
		距離と位相演習	2前		2								兼1	
		多変数の微分積分演習	2前		2								兼1	
		確率論演習	2前		2								兼1	
		力学Ⅰ	1後		2								兼1	
		熱力学	1後		2								兼1	
		電磁気学Ⅰ	2前		2								兼1	
		小計(24科目)	—	10	38		3	3	1			兼8		
学 科 専 攻 科 目 群	計 算 シ ス テ ム 科 学 分 野 科 目	計算機システム学	2前	2			1							
		コンピュータアーキテクチャ	2後		2		1							
		ヒューマンコンピュータインタラクション	2後		2					1				
		オペレーティングシステム論	3前		2					1				
		デジタル回路実験	3前		2			1	1					オムニバス
		情報ネットワーク論	3前		2					1				メディア
		情報ネットワーク論演習	3後		2								兼1	
		計算システム科学特論	3前		2								兼1	集中
		小計(8科目)	—	2	14		2	2				兼2		

ソフトウェア科学分野科目	アルゴリズムとデータ構造	3前	2		1						
	データベースシステム	2後		2					兼1		
	プログラミング言語論	3前		2	1						
	ソフトウェア工学	3前		2					兼1		
	プログラミング演習Ⅲ	3後		2		1					
	人工知能工学	3後		2	1						
	アルゴリズム特論	3後		2		1					
	ソフトウェア科学特論	3前		2					兼1	集中	
	小計(8科目)	—	2	14		2	2			兼3	
数理情報学分野科目	数値解析	3後	2			1					
	離散数学演習	2後		2			1				
	画像処理論	2後		2	1						
	情報解析学	2・3後		2		1					隔年
	計算幾何学入門	2・3後		2		1					隔年
	情報理論	3前		2				1			
	地球環境情報学	3前		2	1						
	シミュレーション工学	3後		2	1						
	数理情報学特論	3前		2					兼1	集中	
小計(9科目)	—	2	16		2	2	1		兼1		
卒業研究	4通年	8			4	5	1			共同	
合計(328282科目)			54	573 502		8	6	1		兼413 兼295	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	4科目	科目	科目	
24	258		282	24	304		328	
				[]	[46]	[]	[46]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	核時代の倫理	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
2	教養としての恋愛・結婚・親しい対人関係の心理学	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
3	基礎から学ぶ日本近代史	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
4	長宗我部元親の四国制覇	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
5	マスメディアと音楽	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
6	ピアノ連弾を楽しもう	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
7	デッサンの世界	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
8	企業経営を考える	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
9	経済を考える	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
10	経済を考える	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
11	英語レクチャー(ジェンダーをめぐる諸問題)	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
12	西洋経済史概論	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
13	高知県の産業と観光	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
14	地域の課題から地方創生を学ぶ	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
15	地域政策演習(ふるさと活性ゼミ)	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
16	数理の世界	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
17	バイオサイエンスの世界	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
18	数学をとおしてみた生物	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
19	魚と食と健康	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
20	身の回りの小さな生き物	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
21	植物の生殖	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
22	動物の進化	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
23	CBI実習IV	2	2前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
24	CBIキャリア開発講座A	2	2前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
25	進路決定支援演習-職業選択とキャリアプラン-	2	1後	一般	選択	担当教員退職のため、廃止
26	大学生活と心理学	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
27	大学生活入門	2	1前	一般	選択	担当教員退職のため、廃止
28	学びの統合入門	2	1後	一般	選択	担当教員退職のため、廃止
29	日本事情VI	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学の共通教育のカリキュラム見直しに伴い廃止となった科目については、併せて科目の新設も行っているため、教育の質の確保はできている。学生には履修案内・教務情報システム等において、開講科目を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{29}{282} = \boxed{10.28}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	451,584㎡	0㎡	0㎡	451,584㎡			
	運動場用地	65,901㎡	0㎡	0㎡	65,901㎡			
	小 計	517,485㎡	0㎡	0㎡	517,485㎡			
	そ の 他	1,573,787㎡	0㎡	0㎡	1,573,787㎡			
	合 計	2,091,272㎡	0㎡	0㎡	2,091,272㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 面積区分等変更による増(29)		
		130,150㎡ 130,140㎡ (130,150㎡) -(130,140㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	130,150㎡ 130,140㎡ (130,150㎡) -(130,140㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	理工学部及び共通教育部分		
	32室	32室	116室	8室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	理工学部 情報科学科			10 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	理工学部 情報科学科	冊	種	[うち外国書]	点	点	点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数
		735,713 [194,298]	19,538 [5,667]	10,785 [10,206]	2,963	3,822	0	
	723,599 [190,654]	29,678 [15,038]	9,956 [9,387]	2,827	4,033	0		
	計	735,713 [194,298]	19,538 [5,667]	10,785 [10,206]	2,963	3,822	0	
	723,599 [190,654]	29,678 [15,038]	9,956 [9,387]	2,827	4,033	0		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	9,557㎡ 9,649㎡		712		836,168		申請時の誤記載(算入していなかった平成27年度改修分を算入し再計算)(29)	
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	4,794㎡ 3,700㎡		柔・剣道場、弓道場、テニスコート、プール等を有している				申請時の誤記載(算入していなかった南体育館分を算入し再計算)(29)	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		—						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	高知大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部							平成15	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
人間文化学科	4	—	—	—	学士(文学) 学士(学術)	—			*平成28年度改組に伴い募集停止
国際社会 コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士(学術)	—			*平成28年度改組に伴い募集停止
社会経済学科	4	—	—	—	学士(経済学) 学士(学術)	—			*平成28年度改組に伴い募集停止
人文社会科学部							平成28	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
人文社会科学科	4	275		1,120	学士(文学) 学士(学術) 学士(経済学)	1.05			*平成28年度改組
		—	3年次 10	20					
教育学部							平成15	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
学校教育教員養成課程	4	130	—	520	学士(教育)	1.04			
生涯教育課程	4	—	—	—	学士(教養) 学士(学術)	—			*平成27年度改組に伴い募集停止
理学部							平成19	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
理学科	4	—	—	—	学士(理学)	—			*平成29年度改組に伴い募集停止
応用理学科	4	—	—	—		—			*平成29年度改組に伴い募集停止
(学科共通)		—	3年次 10	20					

理工学部						平成29	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
数学物理学科	4	55	—	220	学士(理学)	1.05		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
情報科学科	4	30	—	120	学士(理工学)	1.10		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
生物科学科	4	45	—	180	学士(理学)	1.08		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
化学生命理工学科	4	70	—	280	学士(理工学)	1.05		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
地球環境防災学科	4	40	—	160	学士(理工学)	1.10		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
医学部						平成15	高知県南国市岡豊町小蓮	
医学科	6	110	2年次 ₅	672	学士(医学)	1.00		*医学部医学科の 収容定員のうち30 名は、平成29年ま での措置。 *医学部医学科の 収容定員のうち42 名は、平成31年ま での措置。
看護学科	4	60	3年次 ₁₀	260	学士(看護学) 学士(学術)	1.00		
農学部						平成19	高知県南国市物部乙200	
農学科	4	—	—	—	学士(農学) 学士(学術)	—		*平成28年度改組 に伴い募集停止
農林海洋科学部						平成28	高知県南国市物部乙200	
農林資源環境科学科		90	—	360	学士(農学)	1.03		*平成28年度改組

農芸化学科		45	—	180	学士（農学） 学士（学術）	1.05			*平成28年度改組
海洋資源科学科		65	—	260	学士（海洋科学）	1.03			*平成28年度改組
地域協働学部							平成27	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
地域協働学科	4	60	—	240	学士（地域協働学）	1.03			*平成27年度新設
【大学院】									
医学系研究科							平成15	高知県南国市岡豊町小蓮	*平成20年度改組に伴い募集停止
生命医学系専攻	4	—	—	—		—			
神経科学系専攻	4	—	—	—	博士（医学）	—			
社会医学系専攻	4	—	—	—		—			
黒潮圏海洋科学研究科							平成16	高知県南国市物部乙200	*平成20年度改組に伴い募集停止
黒潮圏海洋科学専攻	3	—	—	—	博士（学術）	—			
総合人間自然科学研究科							平成20		*平成20年度改組
人文社会科学専攻	2	10	—	20	修士（文学） 修士（学術） 修士（経済学）	0.65		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
教育学専攻	2	30	—	60	修士（教育学） 修士（学術）	0.66		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
理学専攻	2	75	—	150	修士（理学） 修士（学術）	0.59		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
医科学専攻	2	15	—	30	修士（医科学） 修士（公衆衛生学） 修士（学術）	0.76		高知県南国市岡豊町小蓮	

看護学専攻	2	12	—	24	修士（看護学） 修士（学術）	1.37		高知県南国市岡豊町小蓮	
農学専攻	2	59	—	118	修士（農学） 修士（学術）	0.63		高知県南国市物部乙200	
応用自然科学専攻	3	6	—	18	博士（理学） 博士（学術）	0.55		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
医学専攻	4	30	—	120	博士（医学）	0.63		高知県南国市岡豊町小蓮	
黒潮圏総合科学専攻	3	6	—	18	博士（学術）	0.66		高知県南国市物部乙200	
大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
4	5	1	0	10	4	5	1	0	10	4	5	1	0	10
(4)	(5)	(1)	(0)	(10)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
該当なし									
合計（A）					後任補充状況の集計（B）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
該当なし		必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
該当なし									
合計（C）					後任補充状況の集計（D）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
該当なし		必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）		後任補充状況の集計（B）+（D）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
該当なし		必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<div data-bbox="523 510 874 609" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">該当なし</div>				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<理工学部 数学物理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div data-bbox="643 512 935 595" style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">該当なし</div>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 理工学部学務委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>委員会は、次の委員をもって組織する。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 学部の学務担当の副学部長(2) 学科から（数学物理学科はコースから）選出された者 各1人 <p>毎月1回開催予定。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教育力向上に向けた取組計画について等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ 理工学部キックオフシンポジウム・ アドバイザー教員に関する研修会・ 理工学的視点を持つための教員FD活動 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・ 公開シンポジウム・ 学生との面談に必要な準備と心得に関するFD（平成29年4月12日） <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 理工学部キックオフシンポジウム開催（平成28年11月23日） 専任教員・兼任予定教員 61名参加・ 理工学部 専任教員・兼務担当教員のための研修会（平成29年4月12日） 専任教員68名・兼任教員5名参加 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>実施結果を踏まえ、授業改善に向けて検討を進めている。</p>

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各科目において、第5週目に学生による授業評価アンケートを実施し、7週目にアンケート結果に基づくアクションプランを学生に提示し、その後15週目に最終授業評価アンケートを実施して、授業改善の効果を検証する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

実施結果及び分析結果の総評は教員間で共有する。また、各科目ごとの結果については当該教員に個別に通知する。学生への公開については、「アクションプラン」及び教務情報システムを通じて公表することを予定している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を達成するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成29年度設置の学部のため、平成30年度に自己点検・評価を実施し、同年10月に報告書を公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書「年次報告書」を刊行し、全保護者に送付する。
・大学ホームページ上に公開予定(平成30年10月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

平成26年度に大学として受審したため、平成33年度までに受審を予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成29年 9月)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人高知大学

(2) 大学名

高知大学

(3) 大学の位置

〒780-8520
高知県高知市曙町二丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	該当なし		
学長	(ワキグチ ヒロシ) 脇口 宏 (平成24年4月1日)		
学部長	(スズキ トモヒコ) 鈴木 知彦 (平成29年4月1日)		
学科長等	(マツイ トオル) 松井 透 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 生物科学科 学士(理学)	理学	4年	45人	3年次 2人	184人	編入学定員は平成31年度入学生から募集開始

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	45人 []	(-) [-]	1.08倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	293 [3]	(-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	252 [3]	(-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	52 [1]	(-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	49 [0]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A							1.08			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	49 [-] (-)	[-] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	
4年次	/		/		/		[-] (-)	[-] (-)	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	49 [-] (-)	[-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	49人	0人	平成29年度	人	人		0.00 %
合計	49人	0人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学部 生物科学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	大学基礎論	1前	2			7					兼28	共同 オムニバス・共同
	学問基礎論	1後	2			7	5	3				
	課題探求実践セミナー	1前	2			2	2				兼32	
	英会話	1後	2								兼11	
	大学英語入門	1前	2								兼11	
	情報処理	1前	2								兼6	
	小計(6科目)	—	12			7	5	3			兼78	
教養科目	人文分野	1前		2							兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29) カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	倫理を考える	1後		2							兼1	
	核時代の倫理	1前		2							兼1	
	哲学を学ぶ	1後		2							兼1	
	哲学を学ぶ	1前		2							兼1	
	神話と儀礼	1後		2							兼1	
	世界の宗教	1前		2							兼1	
	文化人類学入門	1後		2							兼1	
	生物多様性から考える食と農の未来	1前		2							兼1	
	リラクゼーションの哲学	1後		2							兼1	
	進化論の哲学	1前		2							兼1	
	心理学を学ぶ	1後		2							兼1	
	心理学を学ぶ	1前・後		2							兼1	
	教養としての恋愛・結婚・親しい対人関係の心理学	1後		2							兼1	
	地理学を学ぶ	1前		2							兼1	
	地理学を学ぶ	1後		2							兼1	
	歴史を考える	1前		2							兼1	
	歴史を考える	1前		2							兼1	
	歴史を考える	1後		2							兼1	
	もしも、古代中国で暮らしたら	1前・後		2							兼1	
	風景と空間の科学	1前		2							兼1	
	土佐の自由民権運動	1後		2							兼1	
	基礎から学ぶ日本近代史	1前		2							兼1	
	考古学の論点	1後		2							兼1	
	長宗我部元親の四国制覇	1前		2							兼1	
	空想の博物学	1後		2							兼1	
	文学を考える	1前		2							兼1	
	日本語の世界—五十音図をめぐって	1前・後		2							兼1	
	源氏物語の恋愛と結婚	1前・後		2							兼1	
	小さな地名の調べかた	1前		2							兼1	
	外国文学	1前		2							兼3	
	日本古典再入門-語学的理解と内容理解と-	1後		2							兼1	
	日本語方言の探究	1前		2							兼1	
	教養の漢字学	1後		2							兼1	
説話を読む	1前		2							兼1		
文学と社会	1後		2							兼1		
マスメディアと音楽	1前		2							兼1		
ピアノ連弾を楽しもう	1後		2							兼1		
デッサンの世界	1前		2							兼1		
オペラ入門	1後		2							兼1		

	吹奏楽を楽しもう	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	彫刻入門	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	日本画を描いてみよう!	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	合唱初級	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	木彫入門	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	美術を学ぶ	1後	2						兼1	
	近代美術への接近	1後	2						兼1	
	文化財保存科学概論	1後	2						兼1	
	近現代哲学	1前	2						兼1	
	西洋思想文化論	1後	2						兼1	
	文章表現入門	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	四国の歴史と文化 その1 歴史編	1前	1						兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	四国の歴史と文化 その2 文化編	1前	1						兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	阿波学	1前	1						兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	香川の文化と歴史 その1	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	香川の文化と歴史 その2	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	モラエスの徳島	1後	2						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	日本におけるドイツ兵捕虜1914-1920	1後	2						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	ユーラシア大陸における人と金属生産の関わり	1後	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	小計(5137科目)	—	96 74						兼47 兼32	
社会分野	国際関係を考える	1後	2						兼1	
	国際関係を考える	1後	2						兼1	
	政治を考える	1後	2						兼1	
	政治を考える	1前	2						兼1	
	社会学を学ぶ	1後	2						兼1	
	社会学を学ぶ	1後	2						兼1	
	法を学ぶ	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	法を学ぶ	1後	2						兼1	
	憲法を学ぶ	1前・後	2						兼1	
	憲法を学ぶ	1前・後	2						兼1	
	企業経営を考える	1前	2						兼1	
	企業経営を考える	1後	2						兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	はじめての経営学	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	男女共同参画社会を考える	1前	2						兼2 兼4	オムニバス・集中 内容充実のため教員追加・実施形態変更(29)
	企業と労働を考える	1前	2						兼1	
	経済を考える	1後	2						兼1	
	経済を考える	1後	2						兼1	
	経済を考える	1前	2						兼1	
	経済を考える	1後	2						兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	経済を考える	1後	2						兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	お金と経済	1前	2						兼1	
	女性とライフ・キャリア-男女共同参画の視点から-	1前	2						兼1	
	子どもの成長と学び	1後	2						兼1	
	魚食文化で世界を見る	1後	2						兼1	
	社会福祉入門	1後	2						兼1	
	市民社会論入門	1前	2						兼1	
	社会調査データの分析	1後	2						兼3	オムニバス
	森との共生を探る	1前	2						兼1	
	市民生活と法	1後	2						兼1	
	平和と軍縮	1前	2						兼5	オムニバス
	日本の刑事司法を考える	1後	2						兼1	
メディア社会論	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
英語レクチャー(ジェンダーをめぐる諸問題)	1後	2						兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)	

英語レクチャー(Gender Issues)	1後	2		兼4	オムニバス カリキュラム充実のため、科目追加(29)
消費者問題と法	1後	2		兼1	
障害を考える	1前	2		兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
障害者支援入門	1前	2		兼1	
障害者支援の理論と実践	1後	2		兼2	共同
現代日本の社会と政治	1後	2		兼1	
西洋経済史概論	1前	2		兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
西洋経済史入門	1前	2		兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
地域経済概説	1後	2		兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
福島原発事故を考える	1前	2	1	兼8	オムニバス
大学政策論入門	1前	2		兼2	オムニバス
非営利法人経営論入門	1後	2		兼4	内容充実のため教員追加・オムニバスに変更(29)
社会起業論	1通	2		兼2	オムニバス
まちづくり論	1前	2		兼4	内容充実のため教員追加・オムニバスに変更(29)
スポーツ文化論	1後	2		兼1	集中
食と農の経済学	1後	2		兼1	カリキュラム編成調整による、集中開講化(29)
社会的経営論	2通	2		兼3	集中
川と人の生活誌	1後	2		兼1	カリキュラム編成調整による、集中開講化(29)
地域活性化について学ぶ	1後	2		兼5	オムニバス
高知の中小企業を知る	1後	2		兼1	
高知県の産業と観光	1前	2		兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
高知の産業と地域活性化	1通	2		兼1	集中・カリキュラム充実のため(29)
地域の課題から地方創生を学ぶ	1前	2		兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
中山間地域の生活と環境 I	1通	2		兼2	集中
中山間地域の生活と環境 II	1通	2		兼2	集中
地域協働企画立案	1通	2		兼2	集中
地域協働実習I	2通	2		兼2	集中
地域協働自己分析	2通	2		兼2	集中
社会協働実践	2通	2		兼1	集中
協働実践自己分析	1通	2		兼1	集中
ソーシャルキャピタル論入門	1通	2		兼1	集中
地域政策演習(ふるさと活性ゼミ)	1後	2		兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
地域の中で武道を育てる	1前	2		兼1	集中
土佐の海の環境学I: 柏島の海から考える	1通	2		兼6	集中・オムニバス
グローバル化時代の日本論	1後	2		兼4	内容充実のため教員追加・オムニバスに変更(29)
国際ボランティア概論	1前	2		兼1	
地球的規模の課題と国際協力	1後	2		兼1	
ビジネスのための中国理解	1後	2		兼1	
量的研究法	1後	2		兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
大学の知の活用	1後	2		兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
大学教育を考える	1後	2		兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
行動統計学入門	1後	2		兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
地域コンテンツと知財管理 その1	1後	1		兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
地域コンテンツと知財管理 その2	1後	1		兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
香川を学ぶ その1	1後	1		兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
香川を学ぶ その2	1後	1		兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
瀬戸内地域活性化政策 その1	1後	1		兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
瀬戸内地域活性化政策 その2	1後	1		兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
四国の地域振興 その1	1後	1		兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
四国の地域振興 その2	1後	1		兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
大学生のための『安全・安心』の基礎講座	1後	2		兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)

	地域未来創成入門	1前	1						兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	カルチャースフェアリング	1前	1						兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	ベシツク国内サービスラーニング	1前	2						兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	ベシツク海外サービスラーニング	1後	2						兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	小計(7667科目)	—	144 132		1				兼76 兼67	
生命・医療分野	スポーツ科学講義A	1後	2						兼1	
	スポーツ科学講義B	1後	2						兼1	
	スポーツ科学講義C	1前	2						兼1	
	スポーツ科学実技(硬式テニス)	1前・後	1						兼2	
	スポーツ科学実技(卓球)	1前・後	1						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	スポーツ科学実技(バドミントン)	1前・後	1						兼2	
	スポーツ科学実技(ネット型ゲーム)	1前	1						兼1	
	スポーツ科学実技(フィットネス)	1前	1						兼1	
	スポーツ科学実技(ボウリング)	1前	1						兼1	集中
	スポーツ科学実技(一から学べる筋カトレニング)	1後	1						兼1	
	スポーツ科学実技(エアロビクス)	1後	1						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	スポーツ科学実技(剣道)	1後	1						兼1	
	スポーツ科学実技(バスケットボール)	1後	1						兼1	
	スポーツ科学実技(ディスクゲーム)	1後	1						兼1	
	スポーツ科学実技(ジョギング入門)	1後	1						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	スポーツ科学実技(スキーⅠ)	1後	1						兼1	集中
	スポーツ科学実技(スキーⅡ)	1後	1						兼1	集中
	スポーツ科学実技(スノーボードⅠ)	1後	1						兼1	集中
	スポーツ科学実技(スノーボードⅡ)	1後	1						兼1	集中
	健康A	1前	2						兼6 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)
	健康B	1前	2						兼7 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)
健康C	1前	2						兼8 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)	
健康D	1前	2						兼8 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)	
アルコール学概論	1前	2						兼3	オムニバス	
一般学生のための医療と医学の知識	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
知の探訪	1後	2						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
	小計(2620科目)	—	36 28						兼37 兼22	
自然分野	数理の世界	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	法化学概論	1後	2						兼1	
	自然の法則	1前	2						兼5	オムニバス
	フードサイエンスの世界	1前	2						兼12	オムニバス
	ライフサイエンスの世界	1後	2						兼13	オムニバス
	バイオサイエンスの世界	1後	2						兼5	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	物質の科学	1後	2						兼14	オムニバス
	地球と宇宙	1後	2		1				兼1	オムニバス
	自然科学の歴史	1後	2		1				兼3	オムニバス
	環境化学物質をどう考えるか	1前	2						兼1	
	渚の自然史	1前	2						兼1	
	環境を考える	1前	2						兼1	
	黒潮圏科学の魅力	1前	2			2	1		兼14 兼12	オムニバス 内容充実のため担当教員の増(29)
	数学をとらえてみた生物	1前	2				1			カリキュラム見直しのため廃止(29)
	初学者の為の物理入門	1前	2						兼1	
	気象学入門	1前	2						兼1	メディア
大地の災害	1前	2						兼2	オムニバス	
地震の災害	1前	2						兼1		

気象と波の災害	1後	2							兼2	オムニバス
災害と生きる	1後	2							兼2	オムニバス
魚と食と健康	1後	2							兼7	カリキュラム見直しのため廃止(29)
海洋を考える	1後	2							兼9	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
数の概念入門	1後	2							兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
生態系への人為的インパクト	1後	2							兼1	
生物時計のはなし	1後	2							兼1	
体験する数学	1後	2							兼1	
みのまわりの科学	1後	2							兼1	
高知の自然と地質資源	1後	2							兼1	
高知の農業と自然を实践して学ぶ	1前	2							兼7	集中・オムニバス
遺伝資源の利用と保全	1前	2							兼1	
地域の農林資源と環境科学	1後	2							兼7	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
土佐の自然と農林業	1前	2							兼7	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
身の回りの小さな生き物	1前	2			+					カリキュラム見直しのため廃止(29)
植物の生殖	1後	2	+							カリキュラム見直しのため廃止(29)
花粉を科学する	1後	2			1					
動物の進化	1前	2	+							カリキュラム見直しのため廃止(29)
生命の科学	1前	2	+			+			兼2	オムニバス
植物バイオテクノロジー概論	1後	2							兼2	オムニバス
有機化学概論	1後	2							兼1	
微分・積分学入門	1通	2							兼3	オムニバス
物理学入門	1通	2							兼2	オムニバス
化学入門	1通	2							兼2	オムニバス
生物学入門	1通	2		4	5	3			兼3	オムニバス・共同
地球科学入門	1通	2		2					兼12	オムニバス
情報セキュリティ入門	1前	2							兼1	
初等プログラミング入門	1前	2							兼1	
海洋生物学基礎実習	1後	2							兼4	集中・オムニバス カリキュラム充実のため、科目追加(29)
化学専攻一年生の有機化学概論	1後	2							兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
瀬戸内海論 その1	1前	1							兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
瀬戸内海論 その2	1前	1							兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
コンピュータと教育 その1	1前	1							兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
コンピュータと教育 その2	1前	1							兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
情報のいろは	1後	2							兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
サイエンスリテラシーの化学	1後	2							兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
現代科学と研究倫理	1後	2							兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
タンパク質で生命を斬る	1後	2							兼9	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
自動車概論	1後	1							兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
四国の自然環境と防災 その1	1後	1							兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
四国の自然環境と防災 その2	1後	1							兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
太陽光利用型植物工場における知能的農作物生産	1後	1							兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
飛行機はなぜ飛ぶのか	1後	1							兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
小計(5442科目)		99 94		9	7	4			兼141 兼94	
外国語分野										
TOEIC英語	1前・後	2							兼2	
国際英語	1前	2							兼2	
教養英会話	1前・後	2							兼4	
リーディング・スキル	1前・後	2							兼1	
ドイツ語Ⅰ	1前・後	2							兼7	
ドイツ語Ⅱ	1後	2							兼3	
フランス語Ⅰ	1前	2							兼2	
フランス語Ⅱ	1後	2							兼1	
中国語Ⅰ	1前・後	2							兼5	

	中国語Ⅱ	1前・後	2						兼5	
	韓国語(朝鮮語)Ⅰ	1前・後	2						兼1	
	韓国語(朝鮮語)Ⅱ	1後	2						兼1	
	スペイン語Ⅰ	1前	2						兼1	
	スペイン語Ⅱ	1後	2						兼1	
	小計(14科目)	—	28						兼27	
キャリア形成支援分野	CBI実習Ⅰ	2前	2						兼1	集中
	CBI実習Ⅱ	2前	2						兼1	集中
	CBI実習Ⅲ	2前	2						兼1	集中
	CBI実習Ⅳ	2前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	CBIキャリア開発講座A	2前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	CBIキャリア開発講座B	2前	2						兼1	集中
	CBI自己分析	2前	2						兼1	集中
	CBI企画立案	1後	2						兼4	オムニバス・集中
	キャリアパス演習—ライティング養成講座—	1前	2						兼1	
	キャリアパス演習—プライベートデザイン講座—	1後	2						兼1	
	進路決定支援演習—自分プレゼンテーション法—	1前	2						兼1	集中
	進路決定支援演習—職業選択とキャリアプラン—	1後	2						兼1	担当教員退職のため、廃止(29)
	チームワークを考える	1前	2						兼1	
	大学生活と心理学	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	ピアサポート理論と実践	1後	2						兼1	
	アクティブラーニング入門	1前	1						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	キャリアで活かすITリテラシー	1後	1						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	地域キャリア論	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	グローバルコミュニケーション	通年	2						兼2	集中・共同 カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	大学生活入門	1前	2						兼1	担当教員退職のため、廃止(29)
	学びの統合入門	1後	2						兼1	担当教員退職のため、廃止(29)
	生涯教育論	1前	2						兼1	
	教育学概論B	1後	2						兼1	
	教育学概論C	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	教育学概論D	1前	2						兼1	
	教育学概論E	1前	2						兼1	
	教育心理学概論B	1前	2						兼1	
	教育心理学概論C	1後	2						兼1	
	教育心理学概論D	1前	2						兼1	
	地域未来創成入門	1前	1						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
カルチャーシェアリング	1前	1						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)	
ベーシック国内サービスラーニング	1前	4						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)	
ベーシック海外サービスラーニング	1後	4						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)	
アドバンスド国内サービスラーニング	1前	4						兼2	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
アドバンスド海外サービスラーニング	1後	4						兼2	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
学校教員の世界	1後	2						兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
	小計(3024科目)	—	64 48						兼20 兼14	
日本語	日本語Ⅰ	1前	2						兼1	
	日本語Ⅱ	1前	2						兼1	
	日本語Ⅲ	1後	2						兼1	
	日本語Ⅳ	1後	2						兼1	
	小計(4科目)	—	8						兼4	
日本事情	日本事情Ⅰ	1前	2						兼1	
	日本事情Ⅱ	1後	2						兼1	
	日本事情Ⅲ	1前	2						兼1	
	日本事情Ⅳ	1後	2						兼1	
	日本事情Ⅴ	1前	2						兼1	

		日本事情Ⅵ	1後		2							兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
		小計(56科目)	—		10 12							兼3 兼4	
専門科目	学部共通科目群	理工系基礎科目	確率・統計学概論	1前		2						兼1	
		微分積分学基礎	1前		2							兼2	共同
		微分積分学通論	1前		2							兼2	共同
		理工系微分積分学	1後		2							兼1	
		理工系線形代数学	1前・後		2							兼2	共同
		理工系数学(論理と集合)	1前		2							兼1	
		防災理工学概論	2前	2								兼7	オムニバス
		理工学研究プロポーザル	3後	2			7	5	3				
	小計(8科目)	—	4	12		7	5	3			兼14		
	イノベーション人育成科目群	科学者・技術者倫理	1後	2			1					兼3	オムニバス
		リスクマネジメント	2前	2				1				兼5	オムニバス
		キャリアデザインⅠ	2後		2							兼1	集中
		キャリアデザインⅡ	2後		2							兼1	集中
実践キャリアデザイン		3前		2							兼1	集中	
小計(5科目)		—	4	6		1	1				兼4		
グローバル強化科目群	科学英語	2前	2								兼2		
	理工学英語ゼミナールⅠ	3前	2			4	1					オムニバス	
	理工学英語ゼミナールⅡ	4前	2			7	5	3			兼2	オムニバス・共同	
	小計(3科目)	—	6			7	5	3			兼4		
学科基礎科目群	講義科目	生物学概論	1前・後		2	2	1					兼4 兼2	オムニバス 開講クラス追加に伴い担当教員を追加(29)
	地球科学概論	1前・後		2							兼4	オムニバス	
	物理学概論	1前・後		2							兼2	共同	
	化学概論	1前・後		2							兼3	オムニバス	
	情報科学概論	1前		2							兼1		
	理学情報処理演習	2後	2			1	2						オムニバス・共同
	植物分類学	2後	2			1							
	動物分類学	2前	2			1							
	生態学	2後	2				1						
	古生物学	1後	2			1							
	比較生化学	2前	2			1							
	動物生理学	2前	2				1						
	細胞生物学	1後	2				1						
	小計(13科目)	—	16	10		6	5				兼14 兼12		
実験科目	基礎生物学実験	1前・後		2		5	5	3				兼7 兼5	オムニバス・共同 開講クラス追加に伴い担当教員を追加(29)
	基礎地学実験	1前・後		2		2						兼10	オムニバス
	基礎物理学実験	1前・後		2								兼4	共同
	基礎化学実験Ⅰ	1前・後		1								兼6	オムニバス
	基礎化学実験Ⅱ	1前・後		1								兼6	オムニバス
	小計(5科目)	—		8		7	5	3			兼24 兼22		
学科専攻科目群(情報関連科目)	植物形態学	2・3前		2			1						隔年
	植物系統学	3前		2		1							
	脊椎動物学	2後		2		1							
	動物系統学	3後		2		1							
	系統進化学	3後		2		3	1	1					オムニバス
	保全生物学	3前		2				1					
	古生態学	3前		2			1						
	理論生物学	2前		2				1					
	生物圏進化学	2後		2		2							オムニバス
地球表層動態学	2前		2		1								

タンパク質科学	3前	2	1	1					オムニバス
代謝生理学	3後	2			1				
分子生理学	3前	2		1					
原生動物学	3前	2	1	1					オムニバス
植物生理学	3前	2		1					
細胞構造構築学	2後	2		1					
生物多様性学	3後	2	4	2	2				オムニバス
化学分類学	2・3前	2		1					隔年
海洋環境学	3後	2	1						
動物生態学	2前	2						兼1	
水界生態学	3後	2						兼1	
海洋植物学	2前	2						兼1	
生物情報解析演習	2・3後	2				1			隔年
細胞分子生物学	3後	2						兼4	オムニバス・共同
基礎分子生物学	2後	2						兼1	
分子生物学	3前	2						兼1	
発生工学	3前	2						兼1	
幹細胞生物学	3後	2						兼1	
野外調査法基礎	3前	2						兼5	共同・集中
実践野外調査実習	3前	2						兼5	共同・集中
地球掘削科学	3前	2						兼1	
層位学	3前	2						兼1	
層位学実習	3前	2						兼1	
生物科学実験	1前	2	7	5	3				オムニバス・共同
植物分類学実験	3前	2	1	1					共同
海洋生物学実験	3前	2	2						共同
植物生態学実験	3前	2		1	1				共同
植物地理学実習	2前	2	1	2	1				共同・集中
陸水生物学実習	3前	2			1				
古生物学実習	2後	2	2						オムニバス
比較生化学実験	3後	2	1		1				共同
動物生理学実験	2前	2	1	1					共同
細胞生物学実験	3後	2		2					共同
臨海実習	3前	2	3	3				兼1	オムニバス・共同・集中
電子顕微鏡学実習	4前	2		2					オムニバス・集中
卒業研究	4通	8	7	5	3			兼2	共同
小計(46科目)	—	8	90	7	5	3		兼17	
合計(346 300 科目)		50	611 540	7	5	3		兼409 兼288	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年度」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 22	科目 278	科目	科目 300	科目 22 []	科目 324 [46]	科目 []	科目 346 [46]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	核時代の倫理	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
2	教養としての恋愛・結婚・親しい対人関係の心理学	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
3	基礎から学ぶ日本近代史	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
4	長宗我部元親の四国制覇	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
5	マスメディアと音楽	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
6	ピアノ連弾を楽しもう	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
7	デッサンの世界	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
8	企業経営を考える	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
9	経済を考える	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
10	経済を考える	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
11	英語レクチャー(ジェンダーをめぐる諸問題)	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
12	西洋経済史概論	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
13	高知県の産業と観光	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
14	地域の課題から地方創生を学ぶ	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
15	地域政策演習(ふるさと活性ゼミ)	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
16	数理の世界	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
17	バイオサイエンスの世界	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
18	数学をとおしてみた生物	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
19	魚と食と健康	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
20	身の回りの小さな生き物	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
21	植物の生殖	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
22	動物の進化	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
23	CBI実習IV	2	2前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
24	CBIキャリア開発講座A	2	2前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
25	進路決定支援演習-職業選択とキャリアプラン-	2	1後	一般	選択	担当教員退職のため、廃止
26	大学生活と心理学	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
27	大学生活入門	2	1前	一般	選択	担当教員退職のため、廃止
28	学びの統合入門	2	1後	一般	選択	担当教員退職のため、廃止
29	日本事情VI	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学の共通教育のカリキュラム見直しに伴い廃止となった科目については、併せて科目の新設も行っているため、教育の質の確保はできている。学生には履修案内・教務情報システム等において、開講科目を周知している。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{29}{300} = \boxed{9.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	451,584㎡	0㎡	0㎡	451,584㎡				
	運動場用地	65,901㎡	0㎡	0㎡	65,901㎡				
	小 計	517,485㎡	0㎡	0㎡	517,485㎡				
	そ の 他	1,573,787㎡	0㎡	0㎡	1,573,787㎡				
	合 計	2,091,272㎡	0㎡	0㎡	2,091,272㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 面積区分等変更による増(29)			
		130,150㎡ 130,140㎡ (130,150㎡) -(130,140㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	130,150㎡ 130,140㎡ (130,150㎡) -(130,140㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	理工学部及び共通教育部分			
	32室	32室	116室	8室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	理工学部 生物科学科			15 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数	
	理工学部 生物科学科	735,713 [194,298]	19,538 [5,667]	10,785 [10,206]	2,963	3,822	0		
		723,599 [190,654]	29,678 [15,038]	9,956 [9,387]	2,827	4,033	0		
	計	735,713 [194,298]	19,538 [5,667]	10,785 [10,206]	2,963	3,822	0		
		723,599 [190,654]	29,678 [15,038]	9,956 [9,387]	2,827	4,033	0		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 申請時の誤記載(算入していなかった平成27年度改修分を算入し再計算)(29)		
	9,557㎡ 9,649㎡		712		836,168				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体 申請時の誤記載(算入していなかった南体育館分を算入し再計算)(29)		
	4,794㎡ 3,700㎡		柔・剣道場、弓道場、テニスコート、プール等を有している						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			—						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	高知大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収容量	学位又は称号	平均入定学員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部							平成15	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
人間文化学科	4	—	—	—	学士(文学) 学士(学術)	—			*平成28年度改組に伴い募集停止
国際社会 コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士(学術)	—			*平成28年度改組に伴い募集停止
社会経済学科	4	—	—	—	学士(経済学) 学士(学術)	—			*平成28年度改組に伴い募集停止
人文社会科学部							平成28	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
人文社会科学科	4	275		1,120	学士(文学) 学士(学術) 学士(経済学)	1.05			*平成28年度改組
		—	3年次 10	20					
教育学部							平成15	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
学校教育教員養成課程	4	130	—	520	学士(教育)	1.04			
生涯教育課程	4	—	—	—	学士(教養) 学士(学術)	—			*平成27年度改組に伴い募集停止
理学部							平成19	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
理学科	4	—	—	—		—			*平成29年度改組に伴い募集停止
応用理学科	4	—	—	—	学士(理学)	—			*平成29年度改組に伴い募集停止
(学科共通)		—	3年次 10	20					

理工学部						平成29	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
数学物理学科	4	55	—	220	学士(理学)	1.05		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
情報科学科	4	30	—	120	学士(理工学)	1.10		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
生物科学科	4	45	—	180	学士(理学)	1.08		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
化学生命理工学科	4	70	—	280	学士(理工学)	1.05		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
地球環境防災学科	4	40	—	160	学士(理工学)	1.10		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
医学部						平成15	高知県南国市岡豊町小蓮	
医学科	6	110	2年次 ₅	672	学士(医学)	1.00		*医学部医学科の 収容定員のうち30 名は、平成29年ま での措置。 *医学部医学科の 収容定員のうち42 名は、平成31年ま での措置。
看護学科	4	60	3年次 ₁₀	260	学士(看護学) 学士(学術)	1.00		
農学部						平成19	高知県南国市物部乙200	
農学科	4	—	—	—	学士(農学) 学士(学術)	—		*平成28年度改組 に伴い募集停止
農林海洋科学部						平成28	高知県南国市物部乙200	
農林資源環境科学科		90	—	360	学士(農学)	1.03		*平成28年度改組

農芸化学科		45	—	180	学士（農学） 学士（学術）	1.05			*平成28年度改組
海洋資源科学科		65	—	260	学士（海洋科学）	1.03			*平成28年度改組
地域協働学部							平成27	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
地域協働学科	4	60	—	240	学士（地域協働学）	1.03			*平成27年度新設
【大学院】									
医学系研究科							平成15	高知県南国市岡豊町小蓮	*平成20年度改組に伴い募集停止
生命医学系専攻	4	—	—	—		—			
神経科学系専攻	4	—	—	—	博士（医学）	—			
社会医学系専攻	4	—	—	—		—			
黒潮圏海洋科学研究科							平成16	高知県南国市物部乙200	*平成20年度改組に伴い募集停止
黒潮圏海洋科学専攻	3	—	—	—	博士（学術）	—			
総合人間自然科学研究科							平成20		*平成20年度改組
人文社会科学専攻	2	10	—	20	修士（文学） 修士（学術） 修士（経済学）	0.65		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
教育学専攻	2	30	—	60	修士（教育学） 修士（学術）	0.66		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
理学専攻	2	75	—	150	修士（理学） 修士（学術）	0.59		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
医科学専攻	2	15	—	30	修士（医科学） 修士（公衆衛生学） 修士（学術）	0.76		高知県南国市岡豊町小蓮	

看護学専攻	2	12	—	24	修士（看護学） 修士（学術）	1.37		高知県南国市岡豊町小蓮	
農学専攻	2	59	—	118	修士（農学） 修士（学術）	0.63		高知県南国市物部乙200	
応用自然科学専攻	3	6	—	18	博士（理学） 博士（学術）	0.55		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
医学専攻	4	30	—	120	博士（医学）	0.63		高知県南国市岡豊町小蓮	
黒潮圏総合科学専攻	3	6	—	18	博士（学術）	0.66		高知県南国市物部乙200	
大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
7	5	3	0	15	7	5	3	0	15	7	5	3	0	15
(7)	(5)	(3)	(0)	(15)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
該当なし										
合計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
該当なし										
		必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
該当なし										
合計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
該当なし										
		必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）				後任補充状況の集計（B）+（D）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
該当なし										
		必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">該当なし</div>				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<理工学部 数学物理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div data-bbox="643 512 935 595" style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>該当なし</p> </div>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理工学部学務委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>委員会は、次の委員をもって組織する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学部の学務担当の副学部長 (2) 学科から（数学物理学科はコースから）選出された者 各1人 <p>毎月1回開催予定。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育力向上に向けた取組計画について等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理工学部キックオフシンポジウム ・ アドバイザー教員に関する研修会 ・ 理工学的視点を持つための教員FD活動 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公開シンポジウム ・ 学生との面談に必要な準備と心得に関するFD（平成29年4月12日） <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理工学部キックオフシンポジウム開催（平成28年11月23日） 専任教員・兼任予定教員 61名参加 ・ 理工学部 専任教員・兼務担当教員のための研修会（平成29年4月12日） 専任教員68名・兼任教員5名参加 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>実施結果を踏まえ、授業改善に向けて検討を進めている。</p>
--

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各科目において、第5週目に学生による授業評価アンケートを実施し、7週目にアンケート結果に基づくアクションプランを学生に提示し、その後15週目に最終授業評価アンケートを実施して、授業改善の効果を検証する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

実施結果及び分析結果の総評は教員間で共有する。また、各科目ごとの結果については当該教員に個別に通知する。学生への公開については、「アクションプラン」及び教務情報システムを通じて公表することを予定している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を達成するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成29年度設置の学部のため、平成30年度に自己点検・評価を実施し、同年10月に報告書を公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書「年次報告書」を刊行し、全保護者に送付する。
・大学ホームページ上に公開予定(平成30年10月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

平成26年度に大学として受審したため、平成33年度までに受審を予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成29年 9月)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人高知大学

(2) 大学名

高知大学

(3) 大学の位置

〒780-8520

高知県高知市曙町二丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	該当なし		
学長	(ワキグチ ヒロシ) 脇口 宏 (平成24年4月1日)		
学部長	(スズキ トモヒコ) 鈴木 知彦 (平成29年4月1日)		
学科長等	(ワタナベ シゲル) 渡邊 茂 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 化学生命理工 学科 学士(理工学)	理学 工学	4年	70人	3年次 2人	284人	編入学定員は平成31年度 入学生から募集開始

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	70人 (-) [-]	人 (-) [-]	1.05倍	本表の入学者数には土佐 さきがけプログラムグ リーン・サイエンス教育 コース(5名)が含まれ ている。
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	464 (-) [9]	(-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	399 (-) [7]	(-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	83 (-) [1]	(-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	74 (-) [0]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A							1.05			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	71 [-] (-)	[-] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	
4年次	/		/		/		[-] (-)	[-] (-)	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	71 [-] (-)	[-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	71人	0人	平成29年度	人	人		0.00 %
合計	71人	0人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

	吹奏楽を楽しもう	1後	2					兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	彫刻入門	1後	2					兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	日本画を描いてみよう!	1前	2					兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	合唱初級	1後	2					兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	木彫入門	1前	2					兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	美術を学ぶ	1後	2					兼1	
	近代美術への接近	1後	2					兼1	
	文化財保存科学概論	1後	2					兼1	
	近現代哲学	1前	2					兼1	
	西洋思想文化論	1後	2					兼1	
	文章表現入門	1前	2					兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	四国の歴史と文化 その1 歴史編	1前	1					兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	四国の歴史と文化 その2 文化編	1前	1					兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	阿波学	1前	1					兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	香川の文化と歴史 その1	1前	1					兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	香川の文化と歴史 その2	1前	1					兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	モラエスの徳島	1後	2					兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	日本におけるドイツ兵捕虜1914-1920	1後	2					兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	ユーラシア大陸における人と金属生産の関わり	1後	1					兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	小計(5137科目)	—	96 74					兼47 兼32	
社会分野	国際関係を考える	1後	2					兼1	
	国際関係を考える	1後	2					兼1	
	政治を考える	1後	2					兼1	
	政治を考える	1前	2					兼1	
	社会学を学ぶ	1後	2					兼1	
	社会学を学ぶ	1後	2					兼1	
	法を学ぶ	1前	2					兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	法を学ぶ	1後	2					兼1	
	憲法を学ぶ	1前・後	2					兼1	
	憲法を学ぶ	1前・後	2					兼1	
	企業経営を考える	1前	2					兼1	
	企業経営を考える	1後	2					兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	はじめての経営学	1前	2					兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	男女共同参画社会を考える	1前	2					兼2 兼4	オムニバス・集中 内容充実のため教員追加・実施形態変更(29)
	企業と労働を考える	1前	2					兼1	
	経済を考える	1後	2					兼1	
	経済を考える	1後	2					兼1	
	経済を考える	1前	2					兼1	
	経済を考える	1後	2					兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	経済を考える	1後	2					兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	お金と経済	1前	2					兼1	
	女性とライフ・キャリア-男女共同参画の視点から-	1前	2					兼1	
	子どもの成長と学び	1後	2					兼1	
	魚食文化で世界を見る	1後	2					兼1	
	社会福祉入門	1後	2					兼1	
	市民社会論入門	1前	2					兼1	
	社会調査データの分析	1後	2					兼3	オムニバス
	森との共生を探る	1前	2					兼1	
	市民生活と法	1後	2					兼1	
	平和と軍縮	1前	2					兼5	オムニバス
	日本の刑事司法を考える	1後	2					兼1	
メディア社会論	1後	2					兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
英語レクチャー(ジェンダーをめぐる諸問題)	1後	2					兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)	

英語レクチャー(Gender Issues)	1後	2	兼4	オムニバス カリキュラム充実のため、科目追加(29)
消費者問題と法	1後	2	兼1	
障害を考える	1前	2	兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
障害者支援入門	1前	2	兼1	
障害者支援の理論と実践	1後	2	兼2	共同
現代日本の社会と政治	1後	2	兼1	
西洋経済史概論	1前	2	兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
西洋経済史入門	1前	2	兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
地域経済概説	1後	2	兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
福島原発事故を考える	1前	2	兼9	オムニバス
大学政策論入門	1前	2	兼2	オムニバス
非営利法人経営論入門	1後	2	兼4	内容充実のため教員追加・オムニバスに変更(29)
社会起業論	1通	2	兼2	オムニバス
まちづくり論	1前	2	兼4	内容充実のため教員追加・オムニバスに変更(29)
スポーツ文化論	1後	2	兼1	集中
食と農の経済学	1後	2	兼1	カリキュラム編成調整による、集中開講化(29)
社会的経営論	2通	2	兼3	集中
川と人の生活誌	1後	2	兼1	カリキュラム編成調整による、集中開講化(29)
地域活性化について学ぶ	1後	2	兼5	オムニバス
高知の中小企業を知る	1後	2	兼1	
高知県の産業と観光	1前	2	兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
高知の産業と地域活性化	1通	2	兼1	集中・カリキュラム充実のため(29)
地域の課題から地方創生を学ぶ	1前	2	兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
中山間地域の生活と環境 I	1通	2	兼2	集中
中山間地域の生活と環境 II	1通	2	兼2	集中
地域協働企画立案	1通	2	兼2	集中
地域協働実習I	2通	2	兼2	集中
地域協働自己分析	2通	2	兼2	集中
社会協働実践	2通	2	兼1	集中
協働実践自己分析	1通	2	兼1	集中
ソーシャルキャピタル論入門	1通	2	兼1	集中
地域政策演習(ふるさと活性ゼミ)	1後	2	兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
地域の中で武道を育てる	1前	2	兼1	集中
土佐の海の環境学I: 柏島の海から考える	1通	2	兼6	集中・オムニバス
グローバル化時代の日本論	1後	2	兼4	内容充実のため教員追加・オムニバスに変更(29)
国際ボランティア概論	1前	2	兼1	
地球的規模の課題と国際協力	1後	2	兼1	
ビジネスのための中国理解	1後	2	兼1	
量的研究法	1後	2	兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
大学の知の活用	1後	2	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
大学教育を考える	1後	2	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
行動統計学入門	1後	2	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
地域コンテンツと知財管理 その1	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
地域コンテンツと知財管理 その2	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
香川を学ぶ その1	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
香川を学ぶ その2	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
瀬戸内地域活性化政策 その1	1後	1	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
瀬戸内地域活性化政策 その2	1後	1	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
四国の地域振興 その1	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
四国の地域振興 その2	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
大学生のための『安全・安心』の基礎講座	1後	2	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)

	地域未来創成入門	1前	1						兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	カルチャー・シェアリング	1前	1						兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	ベニシツク国内サービスラーニング	1前	2						兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	ベニシツク海外サービスラーニング	1後	2						兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	小計(7667科目)	—	144 132						兼77 兼68	
生命・医療分野	スポーツ科学講義A	1後	2						兼1	
	スポーツ科学講義B	1後	2						兼1	
	スポーツ科学講義C	1前	2						兼1	
	スポーツ科学実技(硬式テニス)	1前・後	1						兼2	
	スポーツ科学実技(卓球)	1前・後	1						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	スポーツ科学実技(バドミントン)	1前・後	1						兼2	
	スポーツ科学実技(ネット型ゲーム)	1前	1						兼1	
	スポーツ科学実技(フィットネス)	1前	1						兼1	
	スポーツ科学実技(ボウリング)	1前	1						兼1	集中
	スポーツ科学実技(一から学べる筋カトレニング)	1後	1						兼1	
	スポーツ科学実技(エアロビクス)	1後	1						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	スポーツ科学実技(剣道)	1後	1						兼1	
	スポーツ科学実技(バスケットボール)	1後	1						兼1	
	スポーツ科学実技(ディスクゲーム)	1後	1						兼1	
	スポーツ科学実技(ジョギング入門)	1後	1						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	スポーツ科学実技(スキーⅠ)	1後	1						兼1	集中
	スポーツ科学実技(スキーⅡ)	1後	1						兼1	集中
	スポーツ科学実技(スノーボードⅠ)	1後	1						兼1	集中
	スポーツ科学実技(スノーボードⅡ)	1後	1						兼1	集中
	健康A	1前	2						兼6 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)
	健康B	1前	2						兼7 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)
健康C	1前	2						兼8 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)	
健康D	1前	2						兼8 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)	
アルコール学概論	1前	2						兼3	オムニバス	
一般学生のための医療と医学の知識	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
知の探訪	1後	2						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
	小計(2620科目)	—	36 28						兼37 兼22	
自然分野	数理の世界	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	法化学概論	1後	2						兼1	
	自然の法則	1前	2						兼5	オムニバス
	フードサイエンスの世界	1前	2						兼12	オムニバス
	ライフサイエンスの世界	1後	2						兼13	オムニバス
	バイオサイエンスの世界	1後	2		2	2	+			カリキュラム見直しのため廃止(29)
	物質の科学	1後	2		3	2	4		兼5	オムニバス
	地球と宇宙	1後	2						兼2	オムニバス
	自然科学の歴史	1後	2						兼4	オムニバス
	環境化学物質をどう考えるか	1前	2						兼1	
	渚の自然史	1前	2						兼1	
	環境を考える	1前	2						兼1	
	黒潮圏科学の魅力	1前	2						兼15	オムニバス
	数学をとらえてみた生物	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	初学者の為の物理入門	1前	2						兼1	
	気象学入門	1前	2						兼1	メディア
	大地の災害	1前	2						兼2	オムニバス
地震の災害	1前	2						兼1		

気象と波の災害	1後	2						兼2	オムニバス
災害と生きる	1後	2						兼2	オムニバス
魚と食と健康	1後	2						兼7	カリキュラム見直しのため廃止(29)
海洋を考える	1後	2						兼9	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
数の概念入門	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
生態系への人為的インパクト	1後	2						兼1	
生物時計のはなし	1後	2						兼1	
体験する数学	1後	2						兼1	
みのまわりの科学	1後	2						兼1	
高知の自然と地質資源	1後	2						兼1	
高知の農業と自然を实践して学ぶ	1前	2						兼7	集中・オムニバス
遺伝資源の利用と保全	1前	2						兼1	
地域の農林資源と環境科学	1後	2						兼7	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
土佐の自然と農林業	1前	2						兼7	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
身の回りの小さな生き物	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
植物の生殖	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
花粉を科学する	1後	2						兼1	
動物の進化	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
生命の科学	1前	2						兼2	オムニバス
植物バイオテクノロジー概論	1後	2						兼2	オムニバス
有機化学概論	1後	2						兼1	
微分・積分学入門	1通	2						兼3	オムニバス
物理学入門	1通	2						兼2	オムニバス
化学入門	1通	2						兼2	オムニバス
生物学入門	1通	2		1	1			兼13	オムニバス・共同
地球科学入門	1通	2						兼14	オムニバス
情報セキュリティ入門	1前	2						兼1	
初等プログラミング入門	1前	2						兼1	
海洋生物学基礎実習	1後	2						兼4	集中・オムニバス カリキュラム充実のため、科目追加(29)
化学専攻一年生の有機化学概論	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
瀬戸内海論 その1	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
瀬戸内海論 その2	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
コンピュータと教育 その1	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
コンピュータと教育 その2	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
情報のいろは	1後	2						兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
サイエンスリテラシーの化学	1後	2						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
現代科学と研究倫理	1後	2						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
タンパク質で生命を斬る	1後	2						兼9	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
自動車概論	1後	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
四国の自然環境と防災 その1	1後	1						兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
四国の自然環境と防災 その2	1後	1						兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
太陽光利用型植物工場における知能的農作物生産	1後	1						兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
飛行機はなぜ飛ぶのか	1後	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
小計(5442科目)		99 94		4	3	4		兼150 兼95	
外国語分野									
TOEIC英語	1前・後	2						兼2	
国際英語	1前	2						兼2	
教養英会話	1前・後	2						兼4	
リーディング・スキル	1前・後	2						兼1	
ドイツ語Ⅰ	1前・後	2						兼7	
ドイツ語Ⅱ	1後	2						兼3	
フランス語Ⅰ	1前	2						兼2	
フランス語Ⅱ	1後	2						兼1	
中国語Ⅰ	1前・後	2						兼5	

	中国語Ⅱ	1前・後	2						兼5	
	韓国語(朝鮮語)Ⅰ	1前・後	2						兼1	
	韓国語(朝鮮語)Ⅱ	1後	2						兼1	
	スペイン語Ⅰ	1前	2						兼1	
	スペイン語Ⅱ	1後	2						兼1	
	小計(14科目)	—	28						兼27	
キャリア形成支援分野	CBI実習Ⅰ	2前	2						兼1	集中
	CBI実習Ⅱ	2前	2						兼1	集中
	CBI実習Ⅲ	2前	2						兼1	集中
	CBI実習Ⅳ	2前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	CBIキャリア開発講座A	2前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	CBIキャリア開発講座B	2前	2						兼1	集中
	CBI自己分析	2前	2						兼1	集中
	CBI企画立案	1後	2						兼4	オムニバス・集中
	キャリアパス演習—ライティング養成講座—	1前	2						兼1	
	キャリアパス演習—プライベートデザイン講座—	1後	2						兼1	
	進路決定支援演習—自分プレゼンテーション法—	1前	2						兼1	集中
	進路決定支援演習—職業選択とキャリアプラン—	1後	2						兼1	担当教員退職のため、廃止(29)
	チームワークを考える	1前	2						兼1	
	大学生活と心理学	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	ピアサポート理論と実践	1後	2						兼1	
	アクティブラーニング入門	1前	1						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	キャリアで活かすITリテラシー	1後	1						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	地域キャリア論	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	グローバルコミュニケーション	通年	2						兼2	集中・共同 カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	大学生活入門	1前	2						兼1	担当教員退職のため、廃止(29)
	学びの統合入門	1後	2						兼1	担当教員退職のため、廃止(29)
	生涯教育論	1前	2						兼1	
	教育学概論B	1後	2						兼1	
	教育学概論C	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	教育学概論D	1前	2						兼1	
	教育学概論E	1前	2						兼1	
	教育心理学概論B	1前	2						兼1	
	教育心理学概論C	1後	2						兼1	
	教育心理学概論D	1前	2						兼1	
	地域未来創成入門	1前	1						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
カルチャーシェアリング	1前	1						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)	
ベーシック国内サービスラーニング	1前	4						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)	
ベーシック海外サービスラーニング	1後	4						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)	
アドバンスド国内サービスラーニング	1前	4						兼2	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
アドバンスド海外サービスラーニング	1後	4						兼2	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
学校教員の世界	1後	2						兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
	小計(3024科目)	—	64 48						兼20 兼14	
日本語	日本語Ⅰ	1前	2						兼1	
	日本語Ⅱ	1前	2						兼1	
	日本語Ⅲ	1後	2						兼1	
	日本語Ⅳ	1後	2						兼1	
	小計(4科目)	—	8						兼4	
日本事情	日本事情Ⅰ	1前	2						兼1	
	日本事情Ⅱ	1後	2						兼1	
	日本事情Ⅲ	1前	2						兼1	
	日本事情Ⅳ	1後	2						兼1	
	日本事情Ⅴ	1前	2						兼1	

		日本事情Ⅵ	1後		2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)	
		小計(56科目)	—		10 12						兼3 兼4		
専門科目	学部共通科目群	理工系基礎科目											
		微分積分学基礎	1前		2						兼2	共同	
		微分積分学通論	1前		2						兼2	共同	
		確率・統計学概論	1前		2						兼1		
		線形代数学概論	1前		2						兼1		
		理工系線形代数学	1前・後	2							兼2	共同	
		防災理工学概論	2前		2						兼7	オムニバス	
	理工学研究プロポーザル	3後		2		7	4	4				オムニバス	
	小計(7科目)	—	6	8		7	4	4			兼12		
	イノベーション人材育成科目群	科学者・技術者倫理	1後		2		1					兼3	オムニバス
		リスクマネジメント	2前		2				1			兼5	オムニバス
		キャリアデザインⅠ	2後		2							兼1	集中
		キャリアデザインⅡ	2後		2							兼1	集中
実践キャリアデザイン		3前		2							兼1	集中	
小計(5科目)	—	4	6		1		1			兼9			
グローバル強化科目群	科学英語	2前・後		2							兼3	共同	
	理工学英語ゼミナールⅠ	3前・後		2		1	1		3			オムニバス	
	理工学英語ゼミナールⅡ	4前		2		7	4	5	4			共同	
	小計(3科目)	—	6			7	4	5	4		兼3		
学科基礎科目群	物理学概論	1前・後		2							兼2	共同	
	化学概論	1前・後		2			1	2				オムニバス	
	生物学概論	1前・後		2			2				兼5 兼3	オムニバス 開講クラス追加に伴い担当教員を追加(29)	
	地球科学概論	1前・後		2							兼4	オムニバス	
	情報科学概論	1前		2							兼1		
	基礎物理学実験	1前・後		2							兼4	共同	
	基礎化学実験Ⅰ	1前・後		1			1	3	1		兼1	オムニバス	
	基礎化学実験Ⅱ	1前・後		1			1	3	1		兼1	オムニバス	
	基礎生物学実験	1前・後		2		2	2		1		兼15 兼13	オムニバス・共同 開講クラス追加に伴い担当教員を追加(29)	
	基礎地学実験	1前・後		2							兼12	オムニバス	
	基礎有機化学	1前	2		1								
	基礎物理化学	1前	2				1						
	基礎無機化学	1後	2		1								
	基礎分子生物学	1後	2		1								
	基礎生化学	1後	2				1						
	理工学情報処理演習	3前	2						1	1			オムニバス
	化学生命理工学実験Ⅰ	2前	2			1			2				オムニバス
	化学生命理工学実験Ⅱ	2後	2			2	2			2			オムニバス
小計(18科目)	—	18	16		4	4	4	3		兼35 兼32			
学科専攻科目群	分析化学Ⅰ	2前		2		1							
	物理化学Ⅰ	2前		2			1						
	有機化学Ⅰ	2前		2		1							
	無機化学Ⅰ	2前		2		1							
	分子生物学	2前		2		1							
	細胞機能学Ⅰ	2前		2				1					
	小計(6科目)	—		12		4	2						
	分析化学Ⅱ	2後		2		1							
	物理化学Ⅱ	2後		2					1				
	有機化学Ⅱ	2後		2				1					
無機化学Ⅱ	2後		2		1								
細胞機能学Ⅱ	2後		2		1								
小計(5科目)	—		10		3	1	1						

分析化学演習	3前		2			1					
物理化学演習	3前		2				1				
有機化学演習	3後		2			1					
無機化学演習	3後		2			1					
分子細胞生物学演習	3後		2	2	2		1			オムニバス	
小計(5科目)	—		10	2	2	3	2				
無機・物理化学実験	3前		2			2	1			オムニバス	
遺伝子工学実験	3前		1	1							
細胞機能工学実験	3前		1		1						
海洋生命理工学実験	3前		1	1	1					共同・集中	
有機・高分子化学実験	3後		2			2	1			オムニバス	
生命分子工学実験	3後		1	1			1			共同	
生化学実験	3後		1		1						
小計(7科目)	—		9	2	2	4	3				
タンパク質科学	3前		2						兼2	オムニバス	
量子化学	2前		2	1							
物性科学序論	2後		2						兼1		
代謝生理学	3前		2						兼1		
天然物化学	3前		2	1							
錯体化学	3前		2	1							
光機能創成化学	2後		2	1							
生体分子機能工学	2後		2	1							
先端機器分析学Ⅰ	2後		2			3	2			オムニバス	
反応工学	3前		2			1					
電気分析化学	3前		2	1							
有機材料化学	3前		2	1							
先端機器分析学Ⅱ	3前		2	2			2			オムニバス	
ケミカルバイオロジー	3前		2	1							
生命分子工学	3前		2						兼4	オムニバス	
発生工学	3前		2	1							
細胞工学	3前		2	1							
高分子化学	3後		2			1					
無機材料化学	3後		2		1						
遺伝子工学	3後		2						兼1		
進化生物工学	3後		2		1						
幹細胞生物工学	3後		2		1						
小計(22科目)	—		44	6	3	4	4		兼9		
最新化学特論	2後		1						兼1	集中	
最新生命科学特論	2後		2						兼1	集中	
最新応用化学特論	3前		1						兼1	集中	
化学生命理工学特論Ⅰ	3前		1						兼1	集中	
化学生命理工学特論Ⅱ	3後		1						兼1	集中	
小計(5科目)	—		6						兼5		
研究セミナーⅠ	4前		2	7	4	5	4			共同	
研究セミナーⅡ	4後		2	7	4	5	4			共同	
卒業研究	4通	8		7	4	5	4			共同	
小計(3科目)	—	8	4	7	4	5	4				
合計(352 306 科目)		54	610 539	7	4	5	4		兼396 兼295		

(注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成28年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 24	科目 282	科目	科目 306	科目 24	科目 328	科目	科目 352	
				[]	[46]	[]	[46]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	核時代の倫理	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
2	教養としての恋愛・結婚・親しい対人関係の心理学	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
3	基礎から学ぶ日本近代史	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
4	長宗我部元親の四国制覇	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
5	マスメディアと音楽	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
6	ピアノ連弾を楽しもう	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
7	デッサンの世界	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
8	企業経営を考える	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
9	経済を考える	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
10	経済を考える	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
11	英語レクチャー(ジェンダーをめぐる諸問題)	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
12	西洋経済史概論	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
13	高知県の産業と観光	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
14	地域の課題から地方創生を学ぶ	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
15	地域政策演習(ふるさと活性ゼミ)	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
16	数理の世界	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
17	バイオサイエンスの世界	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
18	数学をとおしてみた生物	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
19	魚と食と健康	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
20	身の回りの小さな生き物	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
21	植物の生殖	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
22	動物の進化	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
23	CBI実習IV	2	2前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
24	CBIキャリア開発講座A	2	2前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
25	進路決定支援演習-職業選択とキャリアプラン-	2	1後	一般	選択	担当教員退職のため、廃止
26	大学生活と心理学	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
27	大学生活入門	2	1前	一般	選択	担当教員退職のため、廃止
28	学びの統合入門	2	1後	一般	選択	担当教員退職のため、廃止
29	日本事情VI	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学の共通教育のカリキュラム見直しに伴い廃止となった科目については、併せて科目の新設も行っているため、教育の質の確保はできている。学生には履修案内・教務情報システム等において、開講科目を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{29}{306} = \boxed{9.47}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	451,584㎡	0㎡	0㎡	451,584㎡			
	運動場用地	65,901㎡	0㎡	0㎡	65,901㎡			
	小 計	517,485㎡	0㎡	0㎡	517,485㎡			
	そ の 他	1,573,787㎡	0㎡	0㎡	1,573,787㎡			
	合 計	2,091,272㎡	0㎡	0㎡	2,091,272㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 面積区分等変更による増(29)		
		130,150㎡ 130,140㎡ (130,150㎡) -(130,140㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	130,150㎡ 130,140㎡ (130,150㎡) -(130,140㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	理工学部及び共通教育部分		
	32室	32室	116室	8室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	理工学部 化学生命理工学科			20 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
		冊	種	[うち外国書]	点	点	点	
	理工学部 化学生命理工学科	735,713 [194,298] 723,599 [190,654]	19,538 [5,667] 29,678 [15,038]	10,785 [10,206] 9,956 [9,387]	2,963 2,827	3,822 4,033	0 0	
	計	735,713 [194,298] 723,599 [190,654]	19,538 [5,667] 29,678 [15,038]	10,785 [10,206] 9,956 [9,387]	2,963 2,827	3,822 4,033	0 0	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	9,557㎡ 9,649㎡		712		836,168		申請時の誤記載(算入していなかった平成27年度改修分を算入し再計算)(29)	
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	4,794㎡ 3,700㎡		柔・剣道場、弓道場、テニスコート、プール等を有している				申請時の誤記載(算入していなかった南体育館分を算入し再計算)(29)	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	国費による
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		—						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	高知大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部							平成15	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
人間文化学科	4	—	—	—	学士(文学) 学士(学術)	—			*平成28年度改組に伴い募集停止
国際社会 コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士(学術)	—			*平成28年度改組に伴い募集停止
社会経済学科	4	—	—	—	学士(経済学) 学士(学術)	—			*平成28年度改組に伴い募集停止
人文社会科学部							平成28	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
人文社会科学科	4	275		1,120	学士(文学) 学士(学術) 学士(経済学)	1.05			*平成28年度改組
		—	3年次 10	20					
教育学部							平成15	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
学校教育教員養成課程	4	130	—	520	学士(教育)	1.04			
生涯教育課程	4	—	—	—	学士(教養) 学士(学術)	—			*平成27年度改組に伴い募集停止
理学部							平成19	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
理学科	4	—	—	—	学士(理学)	—			*平成29年度改組に伴い募集停止
応用理学科	4	—	—	—		—			*平成29年度改組に伴い募集停止
(学科共通)		—	3年次 10	20					

理工学部						平成29	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
数学物理学科	4	55	—	220	学士(理学)	1.05		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
情報科学科	4	30	—	120	学士(理工学)	1.10		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
生物科学科	4	45	—	180	学士(理学)	1.08		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
化学生命理工学科	4	70	—	280	学士(理工学)	1.05		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
地球環境防災学科	4	40	—	160	学士(理工学)	1.10		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
医学部						平成15	高知県南国市岡豊町小蓮	
医学科	6	110	2年次 ₅	672	学士(医学)	1.00		*医学部医学科の 収容定員のうち30 名は、平成29年ま での措置。 *医学部医学科の 収容定員のうち42 名は、平成31年ま での措置。
看護学科	4	60	3年次 ₁₀	260	学士(看護学) 学士(学術)	1.00		
農学部						平成19	高知県南国市物部乙200	
農学科	4	—	—	—	学士(農学) 学士(学術)	—		*平成28年度改組 に伴い募集停止
農林海洋科学部						平成28	高知県南国市物部乙200	
農林資源環境科学科		90	—	360	学士(農学)	1.03		*平成28年度改組

農芸化学科		45	—	180	学士（農学） 学士（学術）	1.05			*平成28年度改組
海洋資源科学科		65	—	260	学士（海洋科学）	1.03			*平成28年度改組
地域協働学部							平成27	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
地域協働学科	4	60	—	240	学士（地域協働学）	1.03			*平成27年度新設
【大学院】									
医学系研究科							平成15	高知県南国市岡豊町小蓮	*平成20年度改組に伴い募集停止
生命医学系専攻	4	—	—	—		—			
神経科学系専攻	4	—	—	—	博士（医学）	—			
社会医学系専攻	4	—	—	—		—			
黒潮圏海洋科学研究科							平成16	高知県南国市物部乙200	*平成20年度改組に伴い募集停止
黒潮圏海洋科学専攻	3	—	—	—	博士（学術）	—			
総合人間自然科学研究科							平成20		*平成20年度改組
人文社会科学専攻	2	10	—	20	修士（文学） 修士（学術） 修士（経済学）	0.65		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
教育学専攻	2	30	—	60	修士（教育学） 修士（学術）	0.66		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
理学専攻	2	75	—	150	修士（理学） 修士（学術）	0.59		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
医科学専攻	2	15	—	30	修士（医科学） 修士（公衆衛生学） 修士（学術）	0.76		高知県南国市岡豊町小蓮	

看護学専攻	2	12	—	24	修士（看護学） 修士（学術）	1.37		高知県南国市岡豊町小蓮	
農学専攻	2	59	—	118	修士（農学） 修士（学術）	0.63		高知県南国市物部乙200	
応用自然科学専攻	3	6	—	18	博士（理学） 博士（学術）	0.55		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
医学専攻	4	30	—	120	博士（医学）	0.63		高知県南国市岡豊町小蓮	
黒潮圏総合科学専攻	3	6	—	18	博士（学術）	0.66		高知県南国市物部乙200	
大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
7	4	5	4	20	7	4	5	4	20	7	4	5	4	20
(7)	(4)	(5)	(4)	(20)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
該当なし										
合計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
該当なし										
		必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
該当なし										
合計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
該当なし										
		必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）				後任補充状況の集計（B）+（D）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
該当なし										
		必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<div data-bbox="523 510 876 609" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">該当なし</div>				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<理工学部 数学物理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">該当なし</div>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 理工学部学務委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>委員会は、次の委員をもって組織する。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 学部の学務担当の副学部長(2) 学科から（数学物理学科はコースから）選出された者 各1人 <p>毎月1回開催予定。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教育力向上に向けた取組計画について等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ 理工学部キックオフシンポジウム・ アドバイザー教員に関する研修会・ 理工学的視点を持つための教員FD活動 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・ 公開シンポジウム・ 学生との面談に必要な準備と心得に関するFD（平成29年4月12日） <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 理工学部キックオフシンポジウム開催（平成28年11月23日） 専任教員・兼任予定教員 61名参加・ 理工学部 専任教員・兼務担当教員のための研修会（平成29年4月12日） 専任教員68名・兼任教員5名参加 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>実施結果を踏まえ、授業改善に向けて検討を進めている。</p>

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各科目において、第5週目に学生による授業評価アンケートを実施し、7週目にアンケート結果に基づくアクションプランを学生に提示し、その後15週目に最終授業評価アンケートを実施して、授業改善の効果を検証する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

実施結果及び分析結果の総評は教員間で共有する。また、各科目ごとの結果については当該教員に個別に通知する。学生への公開については、「アクションプラン」及び教務情報システムを通じて公表することを予定している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を達成するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成29年度設置の学部のため、平成30年度に自己点検・評価を実施し、同年10月に報告書を公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書「年次報告書」を刊行し、全保護者に送付する。
・大学ホームページ上に公開予定(平成30年10月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

平成26年度に大学として受審したため、平成33年度までに受審を予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成29年 9月)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人高知大学

(2) 大学名

高知大学

(3) 大学の位置

〒780-8520
高知県高知市曙町二丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	該当なし		
学長	(ワキグチ ヒロシ) 脇口 宏 (平成24年4月1日)		
学部長	(スズキ トモヒコ) 鈴木 知彦 (平成29年4月1日)		
学科長等	(タベイ タカオ) 田部井 隆雄 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)
平成29年度に報告する内容 → (29)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学部 地球環境防災 学科 学士(理工学)	理学 工学	4年	40人	3年次 2人	164人	編入学定員は平成31年度 入学生から募集開始

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	40人 (-) [-]	人 (-) [-]	1.10倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	195 (-) [3]	(-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	171 (-) [1]	(-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	45 (-) [0]	(-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	44 (-) [0]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A							1.10			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	44 [-] (-)	[-] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[-] (-)	[-] (-)	
4年次	/		/		/		[-] (-)	[-] (-)	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	44 [-] (-)	[-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0人	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	44人	0人	平成29年度	人	人		0.00 %
合計	44人	0人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

	吹奏楽を楽しもう	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	彫刻入門	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	日本画を描いてみよう!	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	合唱初級	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	木彫入門	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	美術を学ぶ	1後	2						兼1	
	近代美術への接近	1後	2						兼1	
	文化財保存科学概論	1後	2						兼1	
	近現代哲学	1前	2						兼1	
	西洋思想文化論	1後	2						兼1	
	文章表現入門	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	四国の歴史と文化 その1 歴史編	1前	1						兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	四国の歴史と文化 その2 文化編	1前	1						兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	阿波学	1前	1						兼3	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	香川の文化と歴史 その1	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	香川の文化と歴史 その2	1前	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	モラエスの徳島	1後	2						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	日本におけるドイツ兵捕虜1914-1920	1後	2						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	ユーラシア大陸における人と金属生産の関わり	1後	1						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	小計(5137科目)	—	96 74						兼47 兼32	
社会分野	国際関係を考える	1後	2						兼1	
	国際関係を考える	1後	2						兼1	
	政治を考える	1後	2						兼1	
	政治を考える	1前	2						兼1	
	社会学を学ぶ	1後	2						兼1	
	社会学を学ぶ	1後	2						兼1	
	法を学ぶ	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	法を学ぶ	1後	2						兼1	
	憲法を学ぶ	1前・後	2						兼1	
	憲法を学ぶ	1前・後	2						兼1	
	企業経営を考える	1前	2						兼1	
	企業経営を考える	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	はじめての経営学	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	男女共同参画社会を考える	1前	2						兼2 兼1	オムニバス・集中 内容充実のため教員追加・実施形態変更(29)
	企業と労働を考える	1前	2						兼1	
	経済を考える	1後	2						兼1	
	経済を考える	1後	2						兼1	
	経済を考える	1前	2						兼1	
	経済を考える	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	経済を考える	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	お金と経済	1前	2						兼1	
	女性とライフ・キャリア-男女共同参画の視点から-	1前	2						兼1	
	子どもの成長と学び	1後	2						兼1	
	魚食文化で世界を見る	1後	2						兼1	
	社会福祉入門	1後	2						兼1	
	市民社会論入門	1前	2						兼1	
	社会調査データの分析	1後	2						兼3	オムニバス
	森との共生を探る	1前	2						兼1	
	市民生活と法	1後	2						兼1	
	平和と軍縮	1前	2						兼5	オムニバス
	日本の刑事司法を考える	1後	2						兼1	
	メディア社会論	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
英語レクチャー(ジェンダーをめぐる諸問題)	1後	2						兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)	

英語レクチャー(Gender Issues)	1後	2	兼4	オムニバス カリキュラム充実のため、科目追加(29)
消費者問題と法	1後	2	兼1	
障害を考える	1前	2	兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
障害者支援入門	1前	2	兼1	
障害者支援の理論と実践	1後	2	兼2	共同
現代日本の社会と政治	1後	2	兼1	
西洋経済史概論	1前	2	兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
西洋経済史入門	1前	2	兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
地域経済概説	1後	2	兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
福島原発事故を考える	1前	2	兼9	オムニバス
大学政策論入門	1前	2	兼2	オムニバス
非営利法人経営論入門	1後	2	兼4	内容充実のため教員追加・オムニバスに変更(29)
社会起業論	1通	2	兼2	オムニバス
まちづくり論	1前	2	兼4	内容充実のため教員追加・オムニバスに変更(29)
スポーツ文化論	1後	2	兼1	集中
食と農の経済学	1後	2	兼1	カリキュラム編成調整による、集中開講化(29)
社会的経営論	2通	2	兼3	集中
川と人の生活誌	1後	2	兼1	カリキュラム編成調整による、集中開講化(29)
地域活性化について学ぶ	1後	2	兼5	オムニバス
高知の中小企業を知る	1後	2	兼1	
高知県の産業と観光	1前	2	兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
高知の産業と地域活性化	1通	2	兼1	集中・カリキュラム充実のため(29)
地域の課題から地方創生を学ぶ	1前	2	兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
中山間地域の生活と環境 I	1通	2	兼2	集中
中山間地域の生活と環境 II	1通	2	兼2	集中
地域協働企画立案	1通	2	兼2	集中
地域協働実習I	2通	2	兼2	集中
地域協働自己分析	2通	2	兼2	集中
社会協働実践	2通	2	兼1	集中
協働実践自己分析	1通	2	兼1	集中
ソーシャルキャピタル論入門	1通	2	兼1	集中
地域政策演習(ふるさと活性ゼミ)	1後	2	兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)
地域の中で武道を育てる	1前	2	兼1	集中
土佐の海の環境学I: 柏島の海から考える	1通	2	兼6	集中・オムニバス
グローバル化時代の日本論	1後	2	兼4	内容充実のため教員追加・オムニバスに変更(29)
国際ボランティア概論	1前	2	兼1	
地球的規模の課題と国際協力	1後	2	兼1	
ビジネスのための中国理解	1後	2	兼1	
量的研究法	1後	2	兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
大学の知の活用	1後	2	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
大学教育を考える	1後	2	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
行動統計学入門	1後	2	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
地域コンテンツと知財管理 その1	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
地域コンテンツと知財管理 その2	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
香川を学ぶ その1	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
香川を学ぶ その2	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
瀬戸内地域活性化政策 その1	1後	1	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
瀬戸内地域活性化政策 その2	1後	1	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
四国の地域振興 その1	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
四国の地域振興 その2	1後	1	兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)
大学生のための『安全・安心』の基礎講座	1後	2	兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)

	地域未来創成入門	1前	1						兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	カルチャースタディオ	1前	1						兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	ベトナム国内サービスラーニング	1前	2						兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	ベトナム海外サービスラーニング	1後	2						兼1	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
	小計(7667科目)	—	144 132						兼77 兼68	
生命・医療分野	スポーツ科学講義A	1後	2						兼1	
	スポーツ科学講義B	1後	2						兼1	
	スポーツ科学講義C	1前	2						兼1	
	スポーツ科学実技(硬式テニス)	1前・後	1						兼2	
	スポーツ科学実技(卓球)	1前・後	1						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	スポーツ科学実技(バドミントン)	1前・後	1						兼2	
	スポーツ科学実技(ネット型ゲーム)	1前	1						兼1	
	スポーツ科学実技(フィットネス)	1前	1						兼1	
	スポーツ科学実技(ボウリング)	1前	1						兼1	集中
	スポーツ科学実技(一から学べる筋カトレニング)	1後	1						兼1	
	スポーツ科学実技(エアロビクス)	1後	1						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	スポーツ科学実技(剣道)	1後	1						兼1	
	スポーツ科学実技(バスケットボール)	1後	1						兼1	
	スポーツ科学実技(ディスクゲーム)	1後	1						兼1	
	スポーツ科学実技(ジョギング入門)	1後	1						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	スポーツ科学実技(スキーⅠ)	1後	1						兼1	集中
	スポーツ科学実技(スキーⅡ)	1後	1						兼1	集中
	スポーツ科学実技(スノーボードⅠ)	1後	1						兼1	集中
	スポーツ科学実技(スノーボードⅡ)	1後	1						兼1	集中
	健康A	1前	2						兼6 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)
	健康B	1前	2						兼7 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)
	健康C	1前	2						兼8 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)
	健康D	1前	2						兼8 兼5	オムニバス 科目内容の見直しによる担当教員追加(29)
アルコール学概論	1前	2						兼3	オムニバス	
一般学生のための医療と医学の知識	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
知の探訪	1後	2						兼1	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
	小計(2620科目)	—	36 28						兼37 兼22	
自然分野	数理の世界	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	法化学概論	1後	2						兼1	
	自然の法則	1前	2						兼5	オムニバス
	フードサイエンスの世界	1前	2						兼12	オムニバス
	ライフサイエンスの世界	1後	2						兼13	オムニバス
	バイオサイエンスの世界	1後	2						兼5	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	物質の科学	1後	2						兼14	オムニバス
	地球と宇宙	1後	2						兼2	オムニバス
	自然科学の歴史	1後	2						兼4	オムニバス
	環境化学物質をどう考えるか	1前	2						兼1	
	渚の自然史	1前	2						兼1	
	環境を考える	1前	2						兼1	
	黒潮圏科学の魅力	1前	2						兼15	オムニバス
	数学をとらえてみた生物	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	初学者の為の物理入門	1前	2						兼1	
	気象学入門	1前	2		1					メディア
	大地の災害	1前	2		1	1				オムニバス
	地震の災害	1前	2			1				

	中国語Ⅱ	1前・後	2						兼5	
	韓国語(朝鮮語)Ⅰ	1前・後	2						兼1	
	韓国語(朝鮮語)Ⅱ	1後	2						兼1	
	スペイン語Ⅰ	1前	2						兼1	
	スペイン語Ⅱ	1後	2						兼1	
	小計(14科目)	—	28						兼27	
キャリア形成支援分野	CBI実習Ⅰ	2前	2						兼1	集中
	CBI実習Ⅱ	2前	2						兼1	集中
	CBI実習Ⅲ	2前	2						兼1	集中
	CBI実習Ⅳ	2前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	CBIキャリア開発講座A	2前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	CBIキャリア開発講座B	2前	2						兼1	集中
	CBI自己分析	2前	2						兼1	集中
	CBI企画立案	1後	2						兼4	オムニバス・集中
	キャリアパス演習—ライティング養成講座—	1前	2						兼1	
	キャリアパス演習—プライベートデザイン講座—	1後	2						兼1	
	進路決定支援演習—自分プレゼンテーション法—	1前	2						兼1	集中
	進路決定支援演習—職業選択とキャリアプラン—	1後	2						兼1	担当教員退職のため、廃止(29)
	チームワークを考える	1前	2						兼1	
	大学生活と心理学	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため廃止(29)
	ピアサポート理論と実践	1後	2						兼1	
	アクティブラーニング入門	1前	1						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	キャリアで活かすITリテラシー	1後	1						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	地域キャリア論	1前	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	グローバルコミュニケーション	通年	2						兼2	集中・共同 カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	大学生活入門	1前	2						兼1	担当教員退職のため、廃止(29)
	学びの統合入門	1後	2						兼1	担当教員退職のため、廃止(29)
	生涯教育論	1前	2						兼1	
	教育学概論B	1後	2						兼1	
	教育学概論C	1後	2						兼1	カリキュラム充実のため、科目追加(29)
	教育学概論D	1前	2						兼1	
	教育学概論E	1前	2						兼1	
	教育心理学概論B	1前	2						兼1	
	教育心理学概論C	1後	2						兼1	
	教育心理学概論D	1前	2						兼1	
	地域未来創成入門	1前	1						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)
カルチャーシェアリング	1前	1						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)	
ベーシック国内サービスラーニング	1前	4						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)	
ベーシック海外サービスラーニング	1後	4						兼2	カリキュラム見直しにより、より適切な分野への科目区分変更(29)	
アドバンスド国内サービスラーニング	1前	4						兼2	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
アドバンスド海外サービスラーニング	1後	4						兼2	カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
学校教員の世界	1後	2						兼2	メディア カリキュラム充実のため、科目追加(29)	
	小計(3024科目)	—	64 48						兼20 兼14	
日本語	日本語Ⅰ	1前	2						兼1	
	日本語Ⅱ	1前	2						兼1	
	日本語Ⅲ	1後	2						兼1	
	日本語Ⅳ	1後	2						兼1	
	小計(4科目)	—	8						兼4	
日本事情	日本事情Ⅰ	1前	2						兼1	
	日本事情Ⅱ	1後	2						兼1	
	日本事情Ⅲ	1前	2						兼1	
	日本事情Ⅳ	1後	2						兼1	
	日本事情Ⅴ	1前	2						兼1	

		日本事情Ⅵ	1後		2							兼4	カリキュラム見直しのため廃止(29)	
		小計(56科目)	—		10 12							兼3 兼4		
専門科目	学部共通科目群	理工系基礎科目	確率・統計学概論	1前		2						兼1		
		微分積分学基礎	1前		2							兼2	共同	
		微分積分学通論	1前		2							兼2	共同	
		理工系微分積分学	1後		2							兼1		
		理工系線形代数学	1前・後		2							兼1	共同	
		防災理工学概論	2前	2			3	2	2				オムニバス	
		理工学研究プロポーザル	3後	2			7	6	5				オムニバス・共同	
	小計(7科目)	—	4	10		7	6	5				兼7		
	イノベーション人材育成科目群	科学者・技術者倫理	1後	2			1						兼3	オムニバス
		リスクマネジメント	2前	2				1	1				兼4	オムニバス
		キャリアデザインⅠ	2後		2								兼1	集中
		キャリアデザインⅡ	2後		2								兼1	集中
		実践キャリアデザイン	3前		2								兼1	集中
	小計(5科目)	—	4	6		1	1	1				兼8		
グローバル強化科目群	科学英語	2前	2									兼3		
	理工学英語ゼミナールⅠ	3前	2			1	1						共同	
	理工学英語ゼミナールⅡ	4前	2			7	6	5					共同	
小計(3科目)	—	6			7	6	5					兼3		
専門基礎科目群	地球惑星科学	1前		2		1								
	物理学概論	1前・後	2									兼2	共同	
	情報科学概論	1前		2								兼1		
	化学概論	1前・後		2								兼3	オムニバス	
	生物学概論	1前・後		2								兼7 兼5	オムニバス 開講クラス追加に伴い担当教員を追加(29)	
	地球科学概論	1前・後		2		1	2	1					オムニバス	
	理工学情報処理演習	2後	2					1						
	沿岸域防災学	1後		2		1	1						オムニバス	
	力学Ⅰ	1後		2								兼1		
	熱力学	1後		2								兼1		
	物理数学Ⅰ	1後		2								兼3	共同	
	野外調査法基礎	1前		2		1	2	2					共同・集中	
	物理数学Ⅱ	2前		2								兼3	共同	
	電磁気学Ⅰ	2前		2								兼2	共同	
小計(14科目)	—	4	24		4	5	2				兼17 兼15			
実験科目群	基礎物理学実験	1前・後		2		1	1					兼2	共同	
	基礎化学実験Ⅰ	1前・後		1								兼6	オムニバス	
	基礎化学実験Ⅱ	1前・後		1								兼6	オムニバス	
	基礎生物学実験	1前・後		2								兼20 兼18	オムニバス・共同 開講クラス追加に伴い担当教員を追加(29)	
	基礎地学実験	1前・後		2		2	3	2				兼5	オムニバス	
	層位学実習	2前		2				1						
	固体地球科学実習	2前		2				1						
小計(7科目)	—		12		3	4	2				兼30 兼28			
地球環境変動分野専攻科目群	古生物学	1後		2								兼1		
	地球表層動態学	2前		2								兼1		
	物理探査法	2後		2		1								
	電磁気学Ⅱ	2後		2								兼2	オムニバス	
	電磁気学演習	2後		2								兼2	オムニバス	
	生物圏進化学	2後		2								兼2	オムニバス	
	古地磁気学	2後		2								兼1		
	大気環境工学	3前		2		1		1					オムニバス	

	テクトニクス	3前		2		1							
	鉱物学	3前		2			1						
	地球環境情報学	3前		2						兼1			
	地球掘削科学	3前		2						兼1			
	層位学	3前		2						兼1			
	鉱物学実習	3後		2			1						
	海洋地質実習	3後		2						兼3		共同・集中	
	小計(15科目)	—		30		2	1			兼8			
防災工学分野専攻科目	測量学	2前		2		2	1						オムニバス
	耐震工学	2後		2			1						
	防災構造工学	2後		2				1					
	国土保全工学	3前		2		1							
	防災施設工学	3前		2		1							
	防災計画学	3前		2					1				
	小計(6科目)	—		12		2	1	2					
分野共通科目	地震地質学	2前		2			1						
	構造地質学	2前		2				1					
	構造力学	2前		2		1		1					オムニバス
	力学Ⅱ	2前		2						兼1			
	力学演習	2前		2						兼1			
	地震学	2後	2				1						
	連続体力学	2後		2		1							
	気象学	2後		2					1				
	地盤工学	2後		2		1							
	地球環境防災実習	2前	2			7	6	5					オムニバス・共同・集中
	地球ダイナミクス	3前		2		1							
	岩石学	3前		2			1						
	水理学	3前		2			1						
	防災工学実験	3前		2		3	2	2					オムニバス
	地球物理学実験	3前		2		3	1	1					共同
	実践野外調査実習	3前		2		1	2	2					共同・集中
	地球環境防災学特論Ⅰ	3前		2		1							集中
	地球環境防災学特論Ⅱ	3前		2		1							集中
	地球環境防災学特論Ⅲ	3前		2		1							集中
	地球環境防災学特論Ⅳ	3前		2		1							集中
	ケーススタディーⅠ	3後	2			7	6	5					共同
	ケーススタディーⅡ	3後		2		7	6	5					共同
	卒業研究	4通	8			7	6	5					共同
	小計(23科目)	—	14	38		7	6	5		兼2			
合計(346300科目)				44	617 546		7	6	5		兼393 兼284		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
19	281		300	19	327		346	
				[]	[46]	[]	[46]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	核時代の倫理	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
2	教養としての恋愛・結婚・親しい対人関係の心理学	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
3	基礎から学ぶ日本近代史	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
4	長宗我部元親の四国制覇	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
5	マスメディアと音楽	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
6	ピアノ連弾を楽しもう	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
7	デッサンの世界	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
8	企業経営を考える	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
9	経済を考える	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
10	経済を考える	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
11	英語レクチャー(ジェンダーをめぐる諸問題)	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
12	西洋経済史概論	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
13	高知県の産業と観光	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
14	地域の課題から地方創生を学ぶ	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
15	地域政策演習(ふるさと活性ゼミ)	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
16	数理の世界	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
17	バイオサイエンスの世界	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
18	数学をとおしてみた生物	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
19	魚と食と健康	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
20	身の回りの小さな生き物	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
21	植物の生殖	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
22	動物の進化	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
23	CBI実習IV	2	2前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
24	CBIキャリア開発講座A	2	2前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
25	進路決定支援演習-職業選択とキャリアプラン-	2	1後	一般	選択	担当教員退職のため、廃止
26	大学生活と心理学	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止
27	大学生活入門	2	1前	一般	選択	担当教員退職のため、廃止
28	学びの統合入門	2	1後	一般	選択	担当教員退職のため、廃止
29	日本事情VI	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学の共通教育のカリキュラム見直しに伴い廃止となった科目については、併せて科目の新設も行っているため、教育の質の確保はできている。学生には履修案内・教務情報システム等において、開講科目を周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{29}{300} = \boxed{9.66} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	451,584㎡	0㎡	0㎡	451,584㎡			
	運動場用地	65,901㎡	0㎡	0㎡	65,901㎡			
	小 計	517,485㎡	0㎡	0㎡	517,485㎡			
	そ の 他	1,573,787㎡	0㎡	0㎡	1,573,787㎡			
	合 計	2,091,272㎡	0㎡	0㎡	2,091,272㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 面積区分等変更による増(29)		
		130,150㎡ 130,140㎡ (130,150㎡) -(130,140㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	130,150㎡ 130,140㎡ (130,150㎡) -(130,140㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	理工学部及び共通教育部分		
	32室	32室	116室	8室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	理工学部 地球環境防災学科			18 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
		冊	種	[うち外国書]	点	点	点	
	理工学部 地球環境防災学科	735,713 [194,298] 723,599 [190,654]	19,538 [5,667] 29,678 [15,038]	10,785 [10,206] 9,956 [9,387]	2,963 2,827	3,822 4,033	0 0	
	計	735,713 [194,298] 723,599 [190,654]	19,538 [5,667] 29,678 [15,038]	10,785 [10,206] 9,956 [9,387]	2,963 2,827	3,822 4,033	0 0	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 申請時の誤記載(算入していなかった平成27年度改修分を算入し再計算)(29)	
	9,557㎡ 9,649㎡		712		836,168			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体 申請時の誤記載(算入していなかった南体育館分を算入し再計算)(29)	
	4,794㎡ 3,700㎡		柔・剣道場、弓道場、テニスコート、プール等を有している					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	国費による
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		—						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	高知大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人文学部							平成15	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
人間文化学科	4	—	—	—	学士(文学) 学士(学術)	—			*平成28年度改組に伴い募集停止
国際社会 コミュニケーション学科	4	—	—	—	学士(学術)	—			*平成28年度改組に伴い募集停止
社会経済学科	4	—	—	—	学士(経済学) 学士(学術)	—			*平成28年度改組に伴い募集停止
人文社会科学部							平成28	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
人文社会科学科	4	275		1,120	学士(文学) 学士(学術) 学士(経済学)	1.05			*平成28年度改組
		—	3年次 10	20					
教育学部							平成15	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
学校教育教員養成課程	4	130	—	520	学士(教育)	1.04			
生涯教育課程	4	—	—	—	学士(教養) 学士(学術)	—			*平成27年度改組に伴い募集停止
理学部							平成19	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
理学科	4	—	—	—		—			*平成29年度改組に伴い募集停止
応用理学科	4	—	—	—	学士(理学)	—			*平成29年度改組に伴い募集停止
(学科共通)		—	3年次 10	20					

理工学部						平成29	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
数学物理学科	4	55	—	220	学士(理学)	1.05		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
情報科学科	4	30	—	120	学士(理工学)	1.10		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
生物科学科	4	45	—	180	学士(理学)	1.08		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
化学生命理工学科	4	70	—	280	学士(理工学)	1.05		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
地球環境防災学科	4	40	—	160	学士(理工学)	1.10		*平成29年度改組
		—	3年次 ₂	4				
医学部						平成15	高知県南国市岡豊町小蓮	
医学科	6	110	2年次 ₅	672	学士(医学)	1.00		*医学部医学科の 収容定員のうち30 名は、平成29年ま での措置。 *医学部医学科の 収容定員のうち42 名は、平成31年ま での措置。
看護学科	4	60	3年次 ₁₀	260	学士(看護学) 学士(学術)	1.00		
農学部						平成19	高知県南国市物部乙200	
農学科	4	—	—	—	学士(農学) 学士(学術)	—		*平成28年度改組 に伴い募集停止
農林海洋科学部						平成28	高知県南国市物部乙200	
農林資源環境科学科		90	—	360	学士(農学)	1.03		*平成28年度改組

農芸化学科		45	—	180	学士（農学） 学士（学術）	1.05			*平成28年度改組
海洋資源科学科		65	—	260	学士（海洋科学）	1.03			*平成28年度改組
地域協働学部							平成27	高知県高知市曙町二丁目5番1号	
地域協働学科	4	60	—	240	学士（地域協働学）	1.03			*平成27年度新設
【大学院】									
医学系研究科							平成15	高知県南国市岡豊町小蓮	*平成20年度改組に伴い募集停止
生命医学系専攻	4	—	—	—		—			
神経科学系専攻	4	—	—	—	博士（医学）	—			
社会医学系専攻	4	—	—	—		—			
黒潮圏海洋科学研究科							平成16	高知県南国市物部乙200	*平成20年度改組に伴い募集停止
黒潮圏海洋科学専攻	3	—	—	—	博士（学術）	—			
総合人間自然科学研究科							平成20		*平成20年度改組
人文社会科学専攻	2	10	—	20	修士（文学） 修士（学術） 修士（経済学）	0.65		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
教育学専攻	2	30	—	60	修士（教育学） 修士（学術）	0.66		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
理学専攻	2	75	—	150	修士（理学） 修士（学術）	0.59		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
医科学専攻	2	15	—	30	修士（医科学） 修士（公衆衛生学） 修士（学術）	0.76		高知県南国市岡豊町小蓮	

看護学専攻	2	12	—	24	修士（看護学） 修士（学術）	1.37		高知県南国市岡豊町小蓮	
農学専攻	2	59	—	118	修士（農学） 修士（学術）	0.63		高知県南国市物部乙200	
応用自然科学専攻	3	6	—	18	博士（理学） 博士（学術）	0.55		高知県高知市曙町二丁目5番1号	
医学専攻	4	30	—	120	博士（医学）	0.63		高知県南国市岡豊町小蓮	
黒潮圏総合科学専攻	3	6	—	18	博士（学術）	0.66		高知県南国市物部乙200	
大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
7	6	5	0	18	7	6	5	0	18	7	6	5	0	18
(7)	(6)	(5)	(0)	(18)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
該当なし							
合計（A）					後任補充状況の集計（B）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
該当なし		必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
該当なし							
合計（C）					後任補充状況の集計（D）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
該当なし		必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）		後任補充状況の集計（B）+（D）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
該当なし		必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<div data-bbox="523 510 877 609" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">該当なし</div>				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<理工学部 数学物理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;">該当なし</div>	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 理工学部学務委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>委員会は、次の委員をもって組織する。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 学部の学務担当の副学部長(2) 学科から（数学物理学科はコースから）選出された者 各1人 <p>毎月1回開催予定。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none">・ 教育力向上に向けた取組計画について等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ 理工学部キックオフシンポジウム・ アドバイザー教員に関する研修会・ 理工学的視点を持つための教員FD活動 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none">・ 公開シンポジウム・ 学生との面談に必要な準備と心得に関するFD（平成29年4月12日） <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 理工学部キックオフシンポジウム開催（平成28年11月23日） 専任教員・兼任予定教員 61名参加・ 理工学部 専任教員・兼務担当教員のための研修会（平成29年4月12日） 専任教員68名・兼任教員5名参加 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>実施結果を踏まえ、授業改善に向けて検討を進めている。</p>

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各科目において、第5週目に学生による授業評価アンケートを実施し、7週目にアンケート結果に基づくアクションプランを学生に提示し、その後15週目に最終授業評価アンケートを実施して、授業改善の効果を検証する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

実施結果及び分析結果の総評は教員間で共有する。また、各科目ごとの結果については当該教員に個別に通知する。学生への公開については、「アクションプラン」及び教務情報システムを通じて公表することを予定している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的を達成するよう、計画通りに実施している。今後更に教育・研究の水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組むこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成29年度設置の学部のため、平成30年度に自己点検・評価を実施し、同年10月に報告書を公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書「年次報告書」を刊行し、全保護者に送付する。
・大学ホームページ上に公開予定(平成30年10月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

平成26年度に大学として受審したため、平成33年度までに受審を予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成29年 9月)